

編輯部報情閣內

# 週報

號日八十二月六

第一四一號  
昭和十四年六月二十八日發行

（每週一回水曜日發行）

限號に  
十錢

事變二周年  
特輯

## 新東亞建設の歩み

附錄



**新東亞建設の歩み**

**目次**

事變二周年と新東亞建設……………二  
 北支の現勢……………三  
 中華民族臨時政府の組織……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四  
 北支の現勢……………四

**六月十七日(土)**  
 ●海陸軍の進展、香取の渡大次郎将  
 行、第三十九回義和團事件記念日、臨時  
 中の天津軍用警備隊の編成、南京  
 日機文化博覧會開幕式、ノ外電機不法選  
 捕、ノ外電機不法選捕

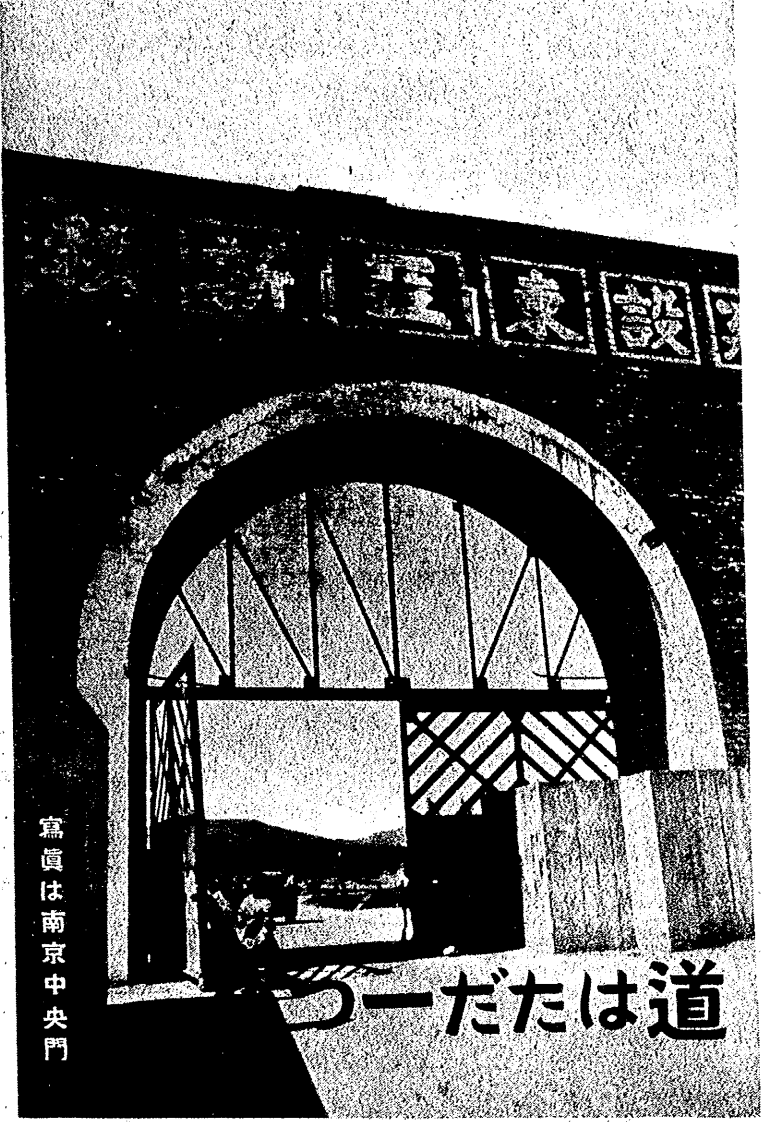
**六月十八日(日)**  
 ●天津で反英大行、博愛社對露交部  
 ●天津で反英大行、博愛社對露交部  
 ●天津で反英大行、博愛社對露交部

**六月十九日(月)**  
 ●ノ外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕  
 ●ノ外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕

**六月廿一日(水)**  
 ●油頭敵前上陸、博愛社對露交部  
 ●油頭敵前上陸、博愛社對露交部

**六月廿二日(木)**  
 ●外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕  
 ●外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕

**六月廿三日(金)**  
 ●ノ外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕  
 ●ノ外電機不法選捕、ノ外電機不法選捕



露光量違いにより重複撮影

露光量違いにより重複撮影

新東亞建設の歩み

目次

新東亞建設の歩み……………二

北支の現勢……………三

中華民国臨時政府機構一覽……………三

北支郵政株式會社一覽……………四

蒙疆の現勢……………六

蒙疆政府機構一覽……………六

中支の現勢……………七

中華民国臨時政府機構一覽……………七

中支郵政株式會社一覽……………八

支那民心を把握せよ……………九

南支の現勢……………一〇

南支の現勢……………一〇

陳中文發(現地軍報部提供)……………一〇

皇軍突如汕頭に進撃……………一七

遼東省海軍軍務及部……………一七

汕頭攻略の意義……………一七

陸軍省情報部……………一七

六月十七日(土)

▽帝國海軍の新鋭「青龍」の竣工式披露で舉行  
 行、▽第三十九回蒙和協定記念日、蒙和協定中の天津租界内で演習舉行、▽在東京日蘭文化協會協賛會生、▽外蒙機不法越境ハロンアンソンを機察

六月十八日(日)

▽天津で反英大會、▽機察政府廉外交部長天津租界内敵軍撤去を要する旨中外に聲明

六月十九日(月)

▽支那事變第十一回勸功行賞發表(陸軍部二六十四号)

▽天津英租界の隔離撤去を期し、午後十時を期し、租界を隔る電線に電流を通ず。在天津軍當局は英一國に因る一と當局發表。ジョーミソン英總領事、田代領事へ撤去の要請を要し、我方一隊す。ロンドンでは重光大使英外相と會談

▽外蒙機不法越境、甘肅、阿穆克明、ハルハ刺を機察

▽蘇湖に於ける英艦スカラブ號不法越境事件につき現地軍當局、英軍當局へ嚴重抗議陳辭を要す

▽重慶政府復興、金圓兩金貨の元利停止を發表

六月廿日(火)

▽クレイギー駐日英大使、外務省局に天津租界隔離撤去を申入れ、右田外相拒絶

▽興隆院華中地務部上海の調査報告を發表

六月廿一日(水)

▽汕頭敵前上陸、掃蕩を期し膠海協力敵前上陸を敢行、午後二時五十分主力部隊完全に汕頭を占領、▽汕頭攻略につき外務省より在京各國大使へ第三國の善處要請を通達

六月廿二日(木)

▽外蒙ソ聯機大學越境、ソ聯機機五百五十機、甘肅附近に越境飛來我が方十八機を以て撃墜、四十九機を撃墜す。我が方機六機損傷以下四機返還せず

▽汕頭に早くも治安維持會結成さる、▽上海の支那銀行、廿四日まで預金引出を制限、▽勸助中央防務會議で實務事項の大綱決定、▽シンガポールで英海軍東共同防衛會議始まる

六月廿三日(金)

▽青島でも反英大會

今週の曆

▽廿八日 世界大戰協和記念日 △元寇記念日

今週の曆

▽廿八日 世界大戰協和記念日 △元寇記念日

## 事變二周年と新東亞建設

七月七日——いまわれは深き感慨のうちに、記念すべき事變勃發二周年を迎へようとしてゐる。想へば  
膺懲の戦ひより長期建設の戦ひへ——と忠勇なる皇軍の戦果は世界戦史に燦然と輝き、いまや全支に互つて  
新秩序建設の巨歩は力強く踏み出された。

帝國の領土に二倍する占領地域には、一億七千萬の民を擁し、新らしき政權と皇軍の庇護とによつて、新たな  
道義善政が東亞積年の壓制に代つて恵みの光を投げかけてゐる。そして眠つてゐた大陸の資源は開發の緒につ  
き、財政も、經濟も、産業も新體制の建設をめざし、防共親日の新東亞文化創造が新らしき世代の課題とさへな  
つてゐる。

新秩序は、かく歩み、かく建設されつゝあるのであるが、この建設はわれわれの、舊き秩序との闘争なくして  
決して爲しとげられないばかりか、現に建設のための武力戦は引續き行はれてゐるのである。油頭攻略戦の新展  
開も建設への新たな礎石の一つであつて、今次聖戦に於いては建設と戦争は實に楯の両面なのである。建設への  
道は決して坦々たる道ではない、容易ならざる苦難の道であることをはつきり認識してかゝらねばならない。  
新東亞の建設、われわれはこの言葉に魅せられて現實を甘く見、早くもわれわれのかゝげた目標が到來しつゝあ  
るやうに考へ、現實の戦争を輕視することを戒めなければならぬと同様、その半面、はかばかしくない建設の現

實のみに捉はれ、新秩序建設に疑念を挟まんとする傾向に對しては更に更に警戒を要するものと思ふ。  
そもこの世界的意義を有する東亞の大業がさう容易に實現出来ると思ひ上ることが既にして認識不足なの  
である。そこへ到達する道程には山もあれば川もある。現に蔣政權はゲリラ戦に躍起となつて居り、租界問  
題、法幣問題等も見られるやうに、第三國の援蔣行爲はいよゝ露骨化し、聖業を妨害しようとしてゐるの  
である。新東亞建設を標榜したからには、かゝる困難は覺悟の上である。われわれには戦ひぬくだけの決意と用  
意はある筈である。

こゝで注意すべきは、東亞新秩序の建設は單に大陸の問題ではないことである。そと大陸の建設、それに伴ふ  
大戦争を遂行するためには、うち國內に於いて、諸般の改新を斷行、國內體制を強化し、軍備の擴充、國家總力  
の擴充をはかり東亞の指導國家たる實力を養ふことが絶対に必要なのである。すなはち、東亞新秩序の建設の問  
題は、そと新支那育成の問題であり、うち國內新秩序への問題であり、兩者は表裏一體の關係にあるのである。  
われわれはまづ、かゝる觀點に立つて東亞の現實を直視し、これをはつきりと把握せねばならない。新東亞  
の建設が現實に於いて如何に困難であり、これがために如何に戦はねばならぬかを知る必要がある。そしてそれ  
が、如何に困難であり苦しくとも、東亞新秩序めざして前途に輝く建設の希望に一路邁進すべきである。  
われわれはかゝる理想、かゝる目標があればこそ、現實の苦難を克服することも出来、戰場に敢然として屍  
を埋め、銃後にあつて死に勝る苦闘に欣然身をまかすのである。

今回、事變二周年に當り、内閣情報部は、興亞院、陸海軍その他關係方面の協力の下に、週報特輯號を編輯し、  
現地紹介を行ふことにしたのも、現實の把握によつて、今後に處する國民生活の指標を確立し得ると信するから  
である。



# 北支の現勢



北支は滿洲國に隣接し、日本とは最も關係の深い所で、従來から政治的經濟的に密接な繋がりがあつた。今日北支と呼ばれてゐるのは、臨時政府の管下にある河北、山東、山西、河南を含み、黄河と白河の流域である北支平野と、その中に人の鼻のやうに突き出してゐる山東半島及び山西の山地帯からなつてゐる。北支は最も早く我が軍に攻略され、建設も最も進んでゐる。以下各方面に互つてその概況を述べてみよう。

## 政治建設

事變前には北支那に冀察政權と冀東自治政府とがあつて、日本と密接な關係を保つてゐたが、事變が起ると冀

察政權は宋哲元等二十九軍の敗退によつて自然に崩壊し、政權の責任者がなく、治安も亂れたので、臨時の處置として、天津には前國務總理高汝霖を委員長とする天津治安維持會が生れ、北平には江朝宗を委員長とする北平治安維持會が生れた。又皇軍の占據した各縣にも、逐次に治安維持會が生れ、その中に天津と北京の治安維持會が中心となり、附近の治安維持會をその傘下に集めるに至り、後には北支政務の統一のため、天津と北京の兩治安維持會の聯合協議會が生れるに至つた。しかし治安維持會の目的が臨時的なものだし、その組織も亦臨時的のものであるから、やがて正式政府が造らるべきことは必然で、徐ろにその時機を待つてゐる中に、南京が陥落し、國民政府が奥地に引込んだので、こゝに愈

新政權の誕生となつたのである。

北支の新政權は、昭和十二年十二月十四日を以つて、中華民國臨時政府の名により北京に成立した。國民政府が抗日と容共とを政策としたのに對して、臨時政府は當然親日と防共とを旗幟とした。政府の組織は三權分立制とし左の三つが置かれた。

- 一 議政委員會 施政重要事項を議決する
- 二 行政委員會 實行機關として議政委員會で決定した事を施行する
- 三 司法委員會 司法事務を管掌する

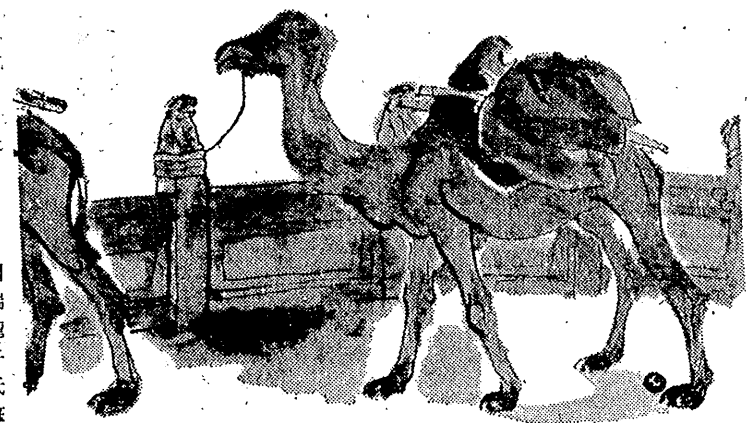
行政委員會は日本の内閣のやうなもので、初めは之を行政、治安、教育、法制、經濟の五部に分ち、行政部の中に内務、外務、財務、實業、交通の分科を置いたのが、後に改めて行政委員會の下に財政、治安、教育、内政、法制、實業の六部に改めた。この部が日本の各省に當るものである。臨時政府の下に各省に省政府があり、省の下に縣政府がある。

新政府の方針としてその成立宣言に現はれた概要は次の通りである。

- 一 國民黨の一黨政治を一掃し、民衆本位の政治を復活す
- 二 共產主義を絕對に排撃す
- 三 東亞の道義發揚に友邦との敦睦を厚らす
- 四 産業を開發し民生を向上す
- 五 廣く天下に人材を求め相携へて共に新生の光澤に浴せしむ

首腦者は行政委員長の王克敏をはじめとし、部長には王揖唐、汪時璟、齊燮元、湯爾和、朱深、王蔭泰等、嘗ては黨閥に列した人が多く、いづれも北支那に於ける錚々たる人物である。新政府の成立以來既に一年有半、だんだんと政府の基礎も固まり、民衆の臨時政府に對する氣持も良い方に變つて來て居り逐次治安と交通が完全に復活するに伴ひ、政府の各般の施設も着々と實施せられつゝある。

新政府と協力し、之を側面から援助するのが新民會で、臨時政府より十日遅れ、十二月二十四日北京で發會式が擧げられた。新民會は新政府支持の民衆教化團體で、新政府の綱領である新民自治の精神によるもので、新民會の目的とするところは、新政權の主義綱領を基礎と



川端龍子氏筆

橋溝蘆

し、新政府と表裏一體となり、日滿支の提携共榮を持ち來たし、共產主義の撲滅と國民黨の打倒を完成し、東洋の文化道徳を宣揚して世界平和に貢獻せんとするにある。新民會は民衆の教化團體であつて、政治團體ではない。前線で働いてゐるのが宣撫班で、新民會は主として後方の治安が出来た區域で活動し、組織としては北京に中央指導部、監察部があり、指導部長は繆斌氏で、その下に各省の指導部があり、部長は省長が兼ねてゐる。その下に縣指導部があり、部長は縣長が兼ねてゐる。新民會の主なる対象は農村であつて、殊に青年に着目し、縣に青年訓練所を設け、また試験農場がある。こゝで訓練を受けた青年は、村に歸つて自衛團を造つたり、その他種種の指導をやる。また農村經濟の方では、合作社即ち産業組合の組織に力を入れ、その事業もだん／＼擴大しつゝある。

### 經濟建設

經濟建設については、約二ヶ年に互つて種々その努力

が續けられてゐる。經濟建設の中心になるのは第一に幣制である。北支那に流通してゐる法幣に對して、新しい紙幣の發行が計畫され、そのために北支の中央銀行として、中國聯合準備銀行が昭和十三年の三月に設けられた。この銀行は北支にある中國、交通兩銀行を始めとする八銀行より出資し、中央發券銀行たるもので、聯合準備銀行の紙幣が北支に於ける唯一の國幣となることになり、三ヶ月を限り、北支にある南方券及び雜券の流通が禁止され、一ヶ年にして北方券その他も流通を禁止した。聯合準備銀行の初め幾ヶ月の間は五、六千萬圓を出でなかつたのが、今日では漸次流通區域を擴大し、既に發行高も二億元を超えるに至つた。しかし一方では外國租界による流通の妨害があり、他方では奥地でも遊撃隊の妨害があるので、尙ほ流通上遺憾の點なしとはいが治安の確立と租界問題の解決とに従ひ、漸次改善されて行くだらう。

聯銀と關聯して考へらるゝことは、北支に於ける爲替及び貿易の統制であるが爲替の統制については聯合準備銀行の貿易通貨たる機能擴充する爲め本年三月から十二品

目について爲替集中が實施された。北支那産業開發のためには、之を統制する機關を造るべしとの議は早くからあつたが、昭和十三年の三月になつて成案を得、北支那開發株式會社を創立することとなり、その法案を議會に提出し、大谷尊由氏を總裁に、十一月七日に至り創立總會を開くに至つた。北支那開發株式會社は北支那の經濟開發を促進し、その統制調整を圖るのが目的で、本店は東京にある。資本金三億五千萬圓、その半額は政府出資である。この會社は直接仕事をするのでなく、主なる事業に投資又は融資をなし、その經營の綜合調整をなすもので、主なる仕事といふのは交通・運輸・港灣・通信・發送電・鑛産・製鹽等である。

北支開發が早くから叫ばれながら、一向手が着かなかつたのは、之を統制する開發會社の出現を俟つてゐたため、開發會社の出現と共に、だん／＼と子會社が生れてきた。第一には北支の通信事業のためには、應急的に生れた北支電政總局がある外、資本金三千五百萬圓の華北電信電話會社が昨年八月一日に生れ、また鐵道の方は滿

鐵が委任經營の形でやつてゐたのが、今年の四月から北支那交通會社が出来るし、發送電の方も着手されて居り、また鑛産の方は石炭と鐵とが主であるが、鐵の方は北京の西北にある龍烟鐵鑛が品質も良し、非常な富鐵で、近くにはコークスに適する炭坑が少くない。開鑿炭、非開鑿炭、河南の六河溝の如きである。北支には既に製鐵所も設けられ開發事業の巨歩は着々と進みつゝある。石炭は河北、山西、山東、河南到る所にあり、殊に山西の埋藏量は一千數百億噸といはるゝが、これ等は交通便で設備の出来てゐる所から、日本側の各會社に分擔して採掘するやうになるだらう。

鹽は白河口の塘沽を中心に渤海沿岸に産し、海水を汲む水車と、灰色の鹽の山とは日本からの遊客の眼を惹く。鹽の生産は天日でやるから、生産費が極く安く、鹽田は大分減じてゐる位だから、之を増産するのは容易である。長蘆鹽と呼ばれるのがこれ、更に山東には山東鹽と青島鹽とがあり、長蘆鹽は昨年からは興中公司が手を着けてゐる。かうして北支開發も次第に進んでゐる。

また日支の經濟提携を實現するため、日華經濟協會

が生れ、昨年三月臨時政府との間に覺書が調印された。會長には王克敏氏、副會長は日本側から平生鎮三郎氏が出掛けた。之は北支那經濟開發の最高指導機關で、北支那經濟開發に關する企畫立案を審議決定する所である。

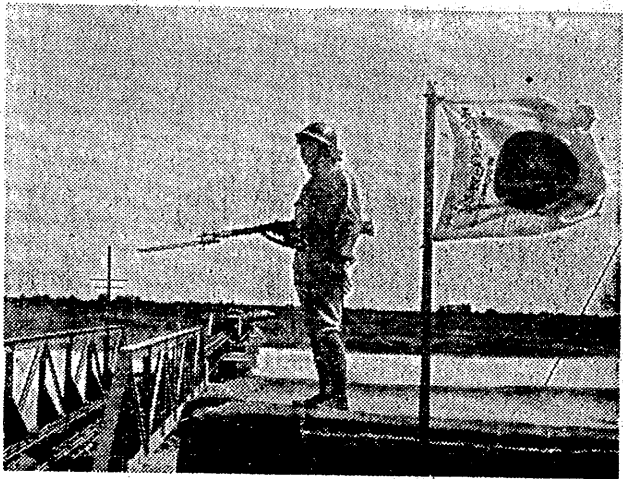
然し支那は農業國であるから、北支那經濟の復興には農村の復興が必要である。臨時政府でもこの點には最も注意を拂つて、復興資金の貸出し等を行ひ、内政部でも北京を中心に救濟事業をやつてゐる。農産物で一番問題になるのは棉花である。北支那の棉花生産は事變前にはどん／＼増加して約四百萬擔を算するに至り、種類も従来の自家用から紡績原棉に變つて來たが、事變の年には水害でやられ、昨年は治安と交通の關係から出廻りがうまく行かず、減收を報せられてゐるが、近年の趨勢は増産に向つてゐるので、治安と交通の改善につれ、棉花が商品として幾らでも捌けるやうになれば、其の生産額は著しく増加を見るに至るであらう。

現にその改良増産の爲めには從來外務省の設けて居つた華北産業科學研究所を擴張して技術的に援助し、更に

支那の棉花改進會の組織を改めて日本棉花栽培協會と共に棉花の増産を圖つてゐる。その他羊毛、小麥等の農作物に對しても技術的に指導して増産を計畫し、バルブの資源に乏しい點から黄河及び白河の岸に着眼して造林計畫を樹て、また煙草も我が國の工場を進出させて目下東亞煙草に依つて年に三十億本の生産が行はれてゐる。農村復興の一つの大きな障礙は水害である。北支那に旅した人は、今でも一昨年の大洪水の跡が、天津と北京の間にさへ、浸々たる湖水となつて残つてゐるのを見るだらう。この水害を防ぐことが出来れば北支の農生産は大いに増加するので、臨時政府には建設廳を設け主として治水土木方面をやつてゐる。

### 治安と交通

治安工作はすべての工作の基礎であつて、治安が巧く行けば他の工作は順調に進むものであるが、また他の工作、例へば産業開發が行はれれば、その地方の人民は生活の道を得るから、自然匪賊も無くなる。北支四省と



新縣附近の鐵道警備

いつも日本よりずっと広いし、人口も一億萬もあるから、前線は支那軍に對峙しながら、西北に根據を有する共產軍の指導する遊撃戰に對し、治安を保持して行くこ

とは、内地の人々が考へるやうに容易なものではない。遊撃隊の中心をなすものは、陝西を根據とし、山西の山地、殊に五台山及び中條山脈に根を張る共産軍で、その一部が河北、山東にも出てゐる。先頃から皇軍は五台山や中條山系の共産軍の掃蕩を行つた。共産軍の外に支那の正規軍や收殘兵が入り込んでゐるし、その周圍に多くの土匪軍がゐるので、之を掃蕩するには非常に骨が折れる。我が方では皇軍が中心となつて要點に駐在し、臨時政府に治安部があり、新しい軍隊の基幹となるものを養成し、保安隊を編成して治安に當らせようとしてゐる。また治安の根本策としては、各鄉村の自衛團を完備して自衛の道を探らせることに努めてゐるから、皇軍の活躍と自衛團の發達により、これ等遊撃隊の完全なる潰滅も極めて近きに在る。

治安と密接な關聯を持つものは交通である。治安と交通とが復活すれば、放つて置いても農村等は復活する。鐵道は始め北京天津の間を八十數時間を要したのが、今では二時間餘となつて全く事變前の状態に復し、釜山と北京間に新たに直通列車が出来たし、承德と北

京の間の鐵道も開通し、北京から張家口、石家莊及び天津から津浦線で濟南、濟南から膠濟線による青島間は一般に乗客に切符を賣出し、その中にこの乗車區間は次第に延長されて行くだらう。鐵道に次いで重要なのは河川交通である。最近河川による奥地からの物資出廻りも多くなつたが、時々匪賊の妨害があるので、治安が恢復すれば一層順調になるだらう。

### 文化工作

文化工作といつても範圍は廣いが、第一には學校である。事變前の學校は排日教育の温床であつたから、之を根本的に改めるため、先づ中小學校の排日教科書から改訂され、排日系の大學専門學校は閉鎖され、排日教授學生は主として南方に去つた。その後には眞面目な大學専門學校が、日本の協力により復活しつゝある。また北支の新建設を擔任すべき人材養成のため、臨時政府の下に新民學院が設けられてゐる。言論機關としては新聞が主なるものであるが、事變前

の北支那の言論機關は、全く抗日記事によつて満たされてゐたが、事變後は排日系の支那紙は大公報が先づ逃げ出し、益世報を最後として全く跡を絶ち、之に代り天津に庸報が生れ、北京の漢字紙も統一され、臨時政府の機關紙新民報と日本系一となつた。また青島、濟南にも排日紙に代り親日紙が生れた。

ラヂオは現代戦では大きな役割をするもので、支那側では始めは南京から、後には長沙、今日では重慶から盛んにデマ放送を飛ばし、北支那の民心を攪亂したが、我が方でも之に對し北京に強力な放送局を設け、日本語の外に、支那語の放送も行つてゐる。

映畫も事變前には抗日宣傳のため大きな役割を演じてゐたが、事變により支那側のスタヂオは全滅し、支那映畫の配給が無くなつたので、現在は租界で外國映畫をやつてゐると、日本側の映畫館で日本映畫を上映してゐるだけであるから、將來はどうしても正しい支那映畫を發達させる必要があり、それについて種々の考慮が拂はれてゐる。

文化工作の主要なる一面は思想對策である。之には共

産黨の宣傳に對するものと支那人の抗日思想の絶滅とがある。前者に對しては、新民會が主として之に當つてゐる。抗日思想も支那側宣傳機關の撲滅と建設の進捗とにより、漸次緩和されつゝある。

### 結語

以上述べたやうに、北支建設のやうな重大なる事業が、さう簡単に進まないのは當然であるが、我が皇軍の奮闘と、北支にある日支兩當事者の努力により、歩一歩、力強い建設を進めつゝあることは東亞の爲め衷心慶賀に堪へない。臨時政府の陣容も整ひ、その財政的基礎も、關税と鹽税とにより鞏固となり、たゞ地方財源に稍々未だ充分ならざる憾みがあるだけである。要は年月と努力とである。二ヶ年間の經驗は北支の建設に自信と希望とを與へ、又多くの經驗を與へた。之によつてわれわれは一層の精進を要するのである。

X X

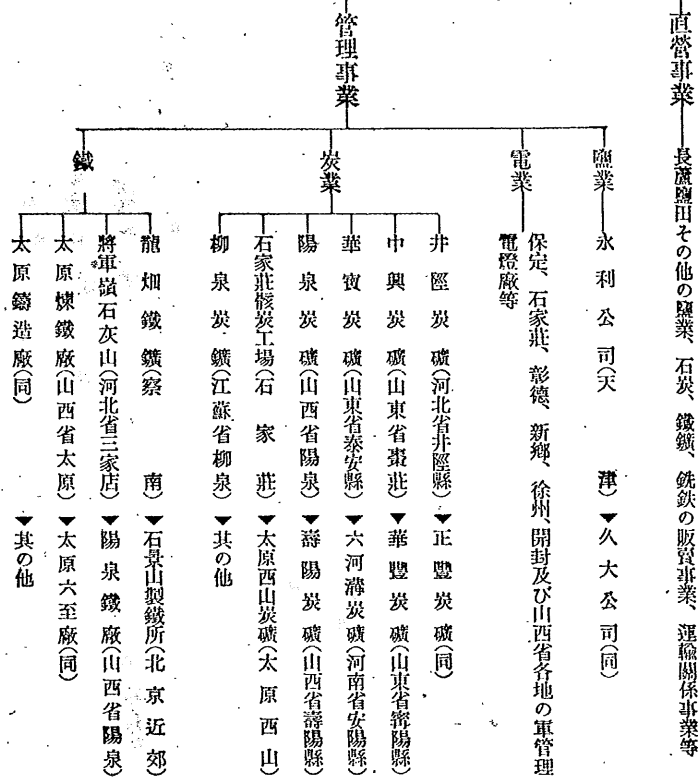


北支那開發株式會社

興中公司の諸事

興中公司

この外にも開發諸事業が進行中であり、やがて北支開發の子會社になるものもある等である。

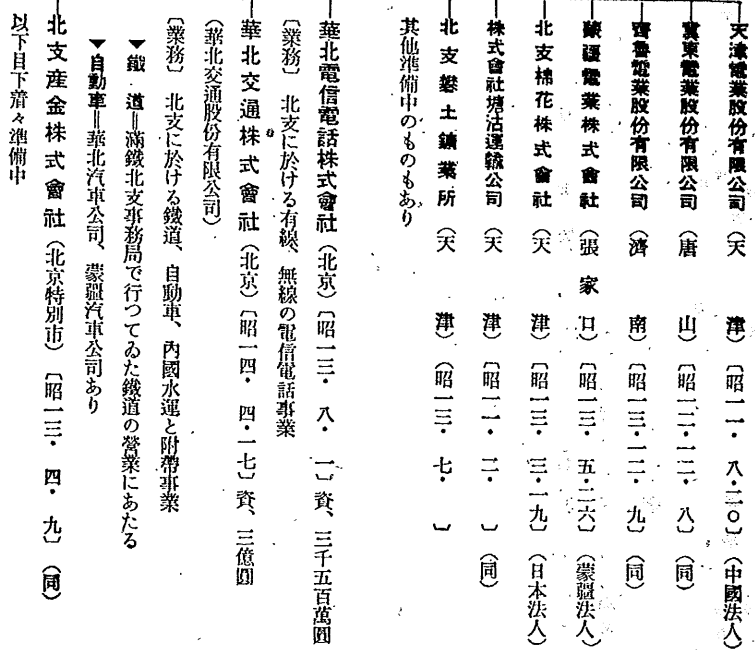


本店 東京市丸の内  
資本金 三億五千萬圓  
設立 昭和十三年  
三月七日  
總裁 大谷幹由

業は大分北支開發子會社

子會社  
設立狀況

鹽業、鐵、電業、石炭、棉花、輕金屬工業その他についても或ひは興中公司その他の事業を繼承し、或ひは新規事業のために、今後多くの子會社が生れる筈である。





# 蒙疆の現勢



## 蒙疆の自然と人文

いはゆる蒙疆地域とは行政的には蒙疆聯合委員會所屬の察南、晉北、蒙古聯盟といふ三自治政府所管の地域で、東は興安嶺を以つて滿洲國と境し、北はコビの砂漠によつて外蒙古に連なり、西は寧夏省、南は内長城線を隔てて陝西、山西、河北の各省に接する舊察哈爾、綏遠兩省及び山西省の北部を加へたいはゆる内蒙古の大部分を占める廣袤五十萬平方浬の地域を指すもので、我が本州、九州、四國、朝鮮を合はせた面積に匹敵する。地勢は一般に高原性であるが、この地域の中心をほゞ東西に走る陰山脈によつて南部は山嶽地帯、北部はい

はゆる蒙古高原に劃然と區別され、地勢上のみならず資源的にも歴史的にもその趣を異にしてゐる。南部の大同以東は陰山、太行兩山脈の接合地帯で、永定河の上流たる桑乾河がこの間を貫流し、西南には黄河の巨流があら、來たつて伊克昭盟と烏蘭察布、巴彦塔拉盟との中間を流下し、河を越えて遙かに鄂爾多斯の平原に續いてゐる。従つて氣象も一般に大陸的特性を帯びてゐるが、陰山、太行兩山脈に挟まれた京包綏沿線の地域は比較的氣温の差が激烈でなく、この點都合よく出来てゐる。即ち最低温期間一月の張家口の平均氣温は攝氏零下二五・三度、厚和は平均零下二五・九度で、盛夏七月の平均氣温は前者は一九・三度、後者は二二・八度である。要するに本

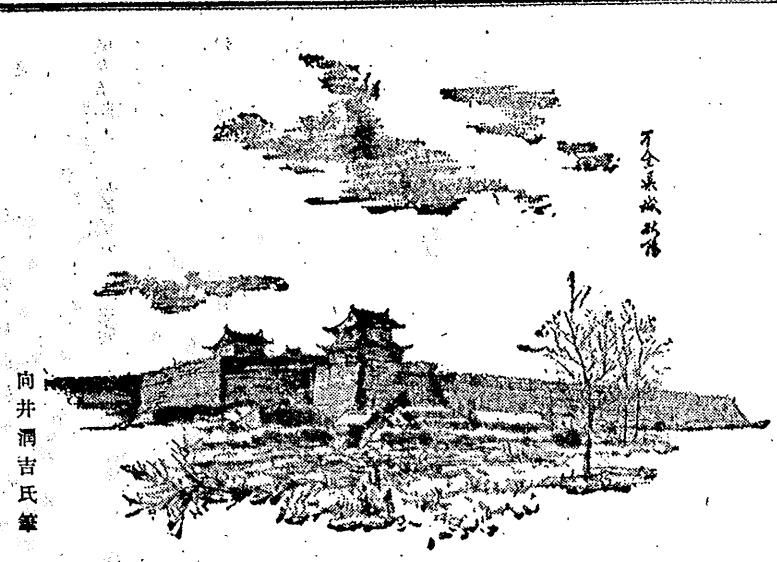
沿線一帯の氣候は地圖の上で想像されるほどに酷烈なものではなく、寒さでは滿洲の奉天以南位に相當し、暑さは日夕の差こそ激しけれ平均氣温は遙かに低く、夏期はしのぎ易く、現に張家口の如きは古くから北支の避暑地としてその名を知られてゐる。雨量は年二〇〇乃至四〇〇耗の少量でそれも大部分は夏季季節風に伴はれるもので冬期の降雪は極めて少量である。従つて空氣の乾燥が甚だしい。

人口は面積の廣大なるに比し極めて少く、僅々五百七十萬人が我が東京市に及ばない。即ち察南五百五十萬人、晉北五百五十萬人、蒙古二百七十萬人が大體正確なところとされてゐる。人種からいへば、漢族が大部分で、蒙古人は全住民の五%で約三十萬人に過ぎず、この外に少數の回民がある。而して察南、晉北の兩地域は殆んど漢人によつて占められ、蒙古聯盟に屬する鐵道沿線は、従來は漢蒙兩族の雜居地帯であつたが、この地帯も漢人移民の波に年々侵略されて、かの遊牧と包の生活は本沿線ではもはや見るべくもない。かくて蒙古人の大多數は陰山脈の北側地域や黄河以南の伊克昭盟等に

退き昔ながらの遊牧生活を續けてゐるが、本來内蒙の地は蒙古人の居住地帯であつたのであつて、漢人は後から入植し、蒙古人はその壓迫を受けて漸次に北退し、牧地も次第に奪はれつゝあつたので、漢蒙兩族の關係は融和せず、互に嫌忌と積憤の情をこめて相對峙し來たつたものである。しかし今事變の結果、民族協和を標榜する蒙疆政權が成立し、日本人の入疆者も日毎に増加しつゝあるから、今後は日本人が漢蒙兩族の間に立つて之を調和し得るに至るであらう。

宗教は佛敎徒が一番多く全住民の七十%を占め、回教徒が之に次いでゐる。その數はなほ明らかでないが大體九萬人前後といはれてゐる。回教徒は從來世界の被壓迫宗教民族として經濟的にも文化的にも低位にあつたが、事變後北支新政權下に聯日防共を標榜して驅起して以來は、その動きは次第に西北に向つて擴大の徴を見せ、政治的にも極めて重大な意義をもつてゐる。蒙古人の大部分は喇嘛敎を信じてゐるが、本敎は清朝が蒙古民族懐柔策として大いに利用したもので、それが蒙古民族の弱化和搾取に演じて來た役割は極めて大きい。





向井酒吉氏筆

改革の必要が叫ばれてゐるが、急激な改革は不可とされ、漸進的になさるべきものとされてゐる。この積弊の喇嘛教と好対照をなすものは基督教、特にカトリック教（主としてベルギー派）の活動である。これ等の教會は單に布教のみではなく、學校、病院、孤兒院等の社會文化施設を經營し、これが支那人の實利主義に投じてなかなか侮るべからざる勢力をもつてゐる。殊にベルギー系カトリック教會は廣大なる土地を所有し之を信徒に耕作せしめて經濟的にも確固たる勢力を築いてゐる。この外、道教、紅教等も一部に行はれてゐる。當地域宗教の概況は上述の通りであるが、この方面に於ける我が國の進出は些か立ち遅れの觀あり、今後は大いにその積極的活動を要望されてゐる。

言語は支那語が通用語となつてゐるが、蒙疆政權成立後は蒙古語も公用語として認められた。なほ一般の會話用語は山西方面からの流入者が多い關係上、自然山西の土語に近いといはれる。

### 政治事情

當地域の政治は察南、晉北、蒙古聯盟の三自治政府によつて行はれてゐる。が、この三政府は更にその共通の目的たる防共、民族協和、民生向上の達成を圖るに必要なる共通重要部門即ち産業、財政、交通、民生及び保安等の事項につき協議統制を行ふ爲めに蒙疆聯合委員會を組織し、同委員會は之等を統制することに必要なる權力の一部を右三政府から分割委譲せられてゐる。つまり當地域の政治は分治分權制度であり、蒙疆聯合委員會は或る意味の中央政府と見ることが出来る。これ等政權樹立の経緯は「週報」第八十九號に詳述されてゐるからこゝには省略するが、蒙疆政權樹立後、諸般の工作は實に驚嘆すべき速さと巧妙さとを以つて進捗せられ、今や戦後經營の第一期基礎工作を了へ、當地域の建設工作は着着として第二段階に進んでゐる。即ち今は蒙疆の特殊性、中でも其の軍事的政治的特性を強化しつゝ之を高度の防共自治の特殊地域たらしめ、克く將來に備へるべき態勢の整備に努力すべき時期に入つて來てゐるのである。

然らば蒙疆の特殊性とは何かといへば、昨年十二月二十二日の近衛聲明は蒙疆について、

一、…支那に現存する實情に鑑みこの防共の目的に對する十分なる保障を擧ぐる爲めには…内蒙地帯を特殊防共地域とすべきことを要求するものである。

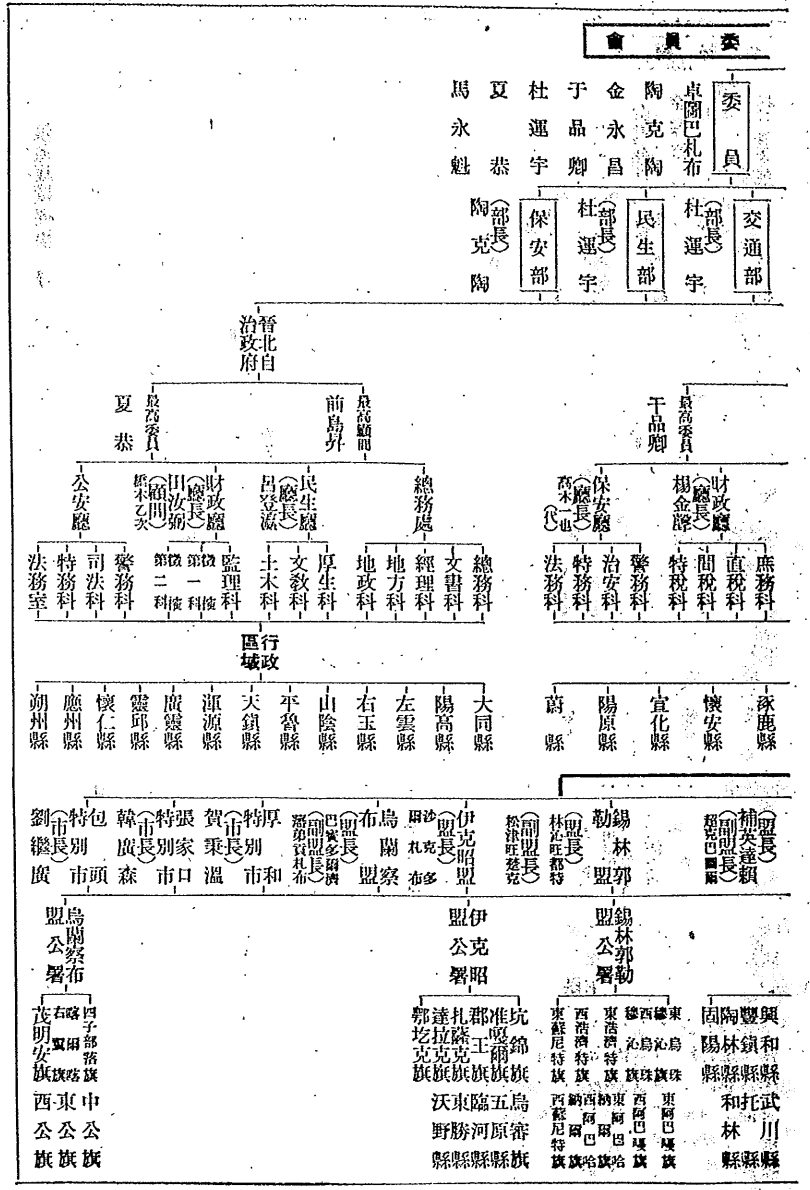
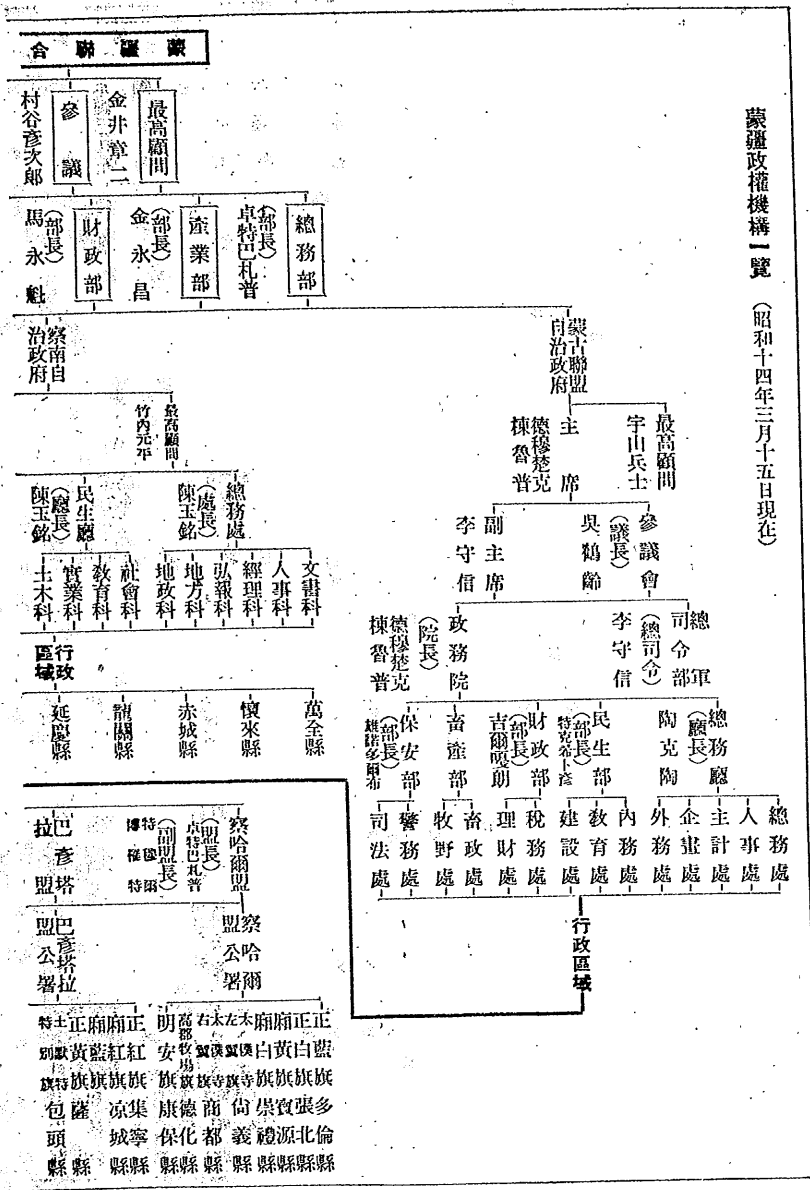
一、…日支間の歴史的經濟的關係に鑑み、特に北支及び内蒙地帯に於いてはその資源の開發利用上、日本に對し積極的に便宜を與ふることを要求するものである。

と述べ、日本の要求を明らかにしてゐる。即ち當地域は先づ第一に我が大陸國策の根幹たる西北支那に延びる防共、砲臺構築の爲めに重要意義をもつてゐるのである。防共地區としての蒙疆は先づその政權確立によつて張家口—庫倫の赤色ルートを切斷したが、蒙疆の重大性は北への睨み以上に西への睨みにある。

第二に蒙疆は右の如き我が大陸國策に即應する爲め、日本を樞軸とし日滿支打つて一丸とする統制經濟の戰時體制確立につき必要なる重要資源の開發利用上、日本に對し特別の便宜を與ふることを要求されてゐるのである。

第三には本地域は内蒙古の多年に亙る民族運動が今事變に於いて、日本の軍事的政治的援助の下にはじめて效

蒙疆政權機構一覽 (昭和十四年三月十五日現在)



を奏して自治政權を獲得した——この事實が蒙疆政權樹立の基礎をなしてゐるのである。以上の如き諸事情が本地域をして高度の防共自治の特殊地域たらしめ、更生新支那とはまた別個な特殊の發展を遂げんとしつゝあるのである。

**蒙疆政權** 以上の如き基本的諸要求に即應し第二期發展工作に進むに當つては、到底従來の過渡的態勢を以つてしては充分にその目的を達し得ざる情勢に立ち至つたので、蒙疆聯合委員會は昨年八月第一次機構改革を斷行、従來の總務・産業・金融・交通の専門委員會を廢止して、之に代ふるに部制を以つてし總務・産業・財政・交通・民生・保安の六部を置き、聯合委員會の統制權を擴大強化すると共に、同委員會と三政府及び三政府相互間の聯繫を一層緊密化したのであつた。が、更に本年四月二十九日、蒙疆聯合委員會では、從來金井章二最高顧問の事務取扱となつてゐた同委員會の首班たる總務委員長に、特に蒙古聯盟自治政府首席副主席を推戴するに決定し、こゝに同委員會は蒙疆地區の國家的中樞機關として愈々重きを加ふるに至つた。

## 財 政

次に各政府の財政状態を概観するに、治安の恢復と經濟界の發展に伴ひ財政の基礎は漸次鞏固となりその豫算は大體に於いて健全財政を建前として編成されてゐる。即ち一般政費の借入金は殆んどなく、借入金的大部分は特殊會社の株式拂込金等に充てられてゐるのである。本年度の各政府豫算額は従來に比し増加してゐるが其の歳出の大部分は治安、産業開發、民生向上等の爲めの經費で當地の施政工作が漸く本格化して來たことを物語るものである。

## 治安情況

皇軍不斷の肅正工作により匪軍の大半は既に殲滅の狀態に達し、蒙古聯盟自治政府管内、察哈爾盟等は殆んど治安の恢復を見てゐる。然し察南、晉北の南部諸縣にはなほ多少の共產匪、敗殘匪の出沒するあり、また五原・臨河・河間方面には馬占山、傅作義、門炳岳等の舊政權の殘滓勢力及び共產軍等が蠢動を續けてゐるが、こ

れ等の地方にも肅正の歩武が進められつゝあるから遠からず治安の恢復を見るであらう。なほ各政府に就いても警察機構の整備擴充を圖ると共に、保甲制度を實施して自衛團の組織訓練に努め、或ひは鐵道沿線に愛護鐵路村を設けて交通路の安全を期する等、治安工作は着々として進んでゐる。

## 産業開發の情況

本地域の經濟建設は極めて順調に進みつゝあるが、その理由としては第一には軍の肅正工作が極めて巧妙迅速で戰爭による被害が比較的少なかつたこと、第二には滿洲國との密接な提携の下にその建國途上の諸經驗が巧妙に活用されたこと等の政治的軍事的理由の外に、更にその經濟上の特殊理由として

- (一) 經濟關係が未發達で土着資本が微力なこと
- (二) 外國資本の進出が殆んどなくその剽削を受けなかつたこと
- (三) 従來の幣制が雜然としてゐる法幣のやうな強力な通貨が支配的でなかつたため、金融再建工作が極

めて順調且つ迅速に行はれ得られたこと

(四) 従つてまた諸種の工作が日本人の指導の下に圓滑に行はれ得られること

右の如き本地域の經濟的特殊事情といふものは、それ自體重視されなければならぬものであるが、之には更に前々項に述べた如き本地域の軍事的政治的特殊事情も併はせ考慮されなければならぬ。即ち後者の點に重點を置いて考へると本地域の經濟はいはゞ作戰經濟とも稱せらるべきもので、單なる資源開發以上の重要意義をもつてゐるのである。そこで、本地域の經濟建設については、その特殊性といふことが特に強調され、本地域内の具體的開發計畫も日滿支ブロック經濟の重要な一環として進められてゐる。

かゝる特殊事情を背景とし基礎として、蒙疆聯合委員會では昨年四月、蒙疆振興五ヶ年計畫なるものを樹立し、目下着々と進行中である。次にその情況を略記してみよう。

## 鐵

本地域全體の鐵礦埋藏量は一億七千萬噸

といはれるが、そのうちでもかの龍烟鐵礦が最も著名で、埋藏量は一億二千萬噸、品位は赤鐵礦四〇—六〇%、磁鐵礦六五%の優良品である。蒙疆聯合委員會は昭和十二年十月之を接收して興中公司に管理運営を委託、貯藏六萬噸は直ちに八幡製鐵所に送られた。目下は更に之が増産を目標に開發準備を進めてゐる。なほ經營の主體については最近蒙疆法人龍烟鐵礦會社の設立案について議が進められつつある。

**石炭**——本地域の炭田は昭和十二年十月皇軍が之を接收、現在は滿鐵が委託經營に當つてゐる。埋藏量は四百萬噸と稱せられ、その主なるものは大同炭田である。

大同炭に付いては従來は輸送能力が充分でない爲め完全な能力を擧げ得なかつたが、設備次第では今後非常な増産を行ひ得るものとされてゐるので目下は鋭意設備の改善擴充につき努力中で、對日輸出に寄與すること大なるものがあらう。なほ蒙疆政府は昨年八月、鑛業法を公布し、鐵、石炭をはじめとしその他重要鑛産資源の確保とそれが開發促進に資するところがあつた。

業の譲渡を受け、本地域全般の電氣事業を統制すると共に、各種設備の改良改善を行ひ電力、電燈料金を於いて平均三割五分の大引下を斷行した。

**農業**——農業は殆んど漢人に限られ、産物は粟、高粱、豆類、小麦、大麥、亞麻及び馬鈴薯等で京津方面にも多少輸出してゐる。商業植物としては甘草、麻黄等の藥用植物があり、察南政府管内には、良質の大麻を産し年産五、六百萬斤に達してゐる。農業対策としては平戰兩時に於ける農産物に重點を置いて、多角的經營を指導奨励すると共に作物栽培の轉化奨励等に勉めてゐる。

**工業**——本地域の工業は全般的に見て未だ家内工業の域を脱せず特記するに足るものはない。たゞ製毛、製革、鹽及び曹達の精製、製粉等は原料が豊富であるから適當な技術と資本を導入すれば充分發展の可能性がある。

### 金融及び貿易事情

蒙疆地域の中央銀行として、蒙古聯盟・察南・晉北三

**蒙鹽**——本地域に産する鹽は土鹽及び湖鹽で自給自足し得る外、毎年相當額を滿洲國方面に輸出してゐる。

**羊毛及びその他の畜産資源**——畜産は本地域本來の産業であつて、羊、馬、牛、豚、驢等を主とする。本地域通過の羊毛類は年三千萬乃至三千五百萬斤、各種獸毛取引額は約六百萬圓と稱せられ、之が資源の確保開發は國防資源としてのみならず、本地域の民生向上、政治問題とも深い關係を有する。よつて蒙古聯盟自治政府内に畜産部を特設し鋭意之が改良増殖の方策につき努力してゐる。なほ本地域に於ける獸毛、毛皮類の搬出統制については、その重要種類に關しては早くから行はれてゐたが、今回更にその改正を行つて統制範圍を全種類に擴大し、毛皮及び皮革に擴大し一段と之を強化した。

**動力資源**——産業開發の原動力たる電力の開發については特殊會社蒙疆電業株式會社（資本金六百萬圓、蒙疆各政府、蒙疆銀行、東亞電力興業、興中公司出資）を設置し十一萬キロ火力發電を目標に建設中であるが、同社は既に昨年中に本地域内舊各電燈公司の電氣事

政府等額出資の下に昨年十二月設立された蒙疆銀行（資本金二千二百萬圓）は張家口本店の外に既に蒙疆内主要地點に分行を、東京、天津に辦事處を開設、紙幣發行高も三千五百五十萬圓餘（昨年未だに達し業績大いに擧つてゐる。紙幣は兌換せざる管理通貨制の上に置かれてゐるが操作適切なるを得て準備の基礎確實（昨年度發行準備年平均七〇%）となり日滿通貨と等價に安定してゐる。舊通貨は蒙銀の前身たる察南銀行を中心として整理を進めたが、これはまた異常の成績を収めて、現在ではまづ蒙銀券一色となつてゐる。發券銀行たる蒙銀はまた爲替銀行であつて、昨年度一ヶ年の對外爲替に相當巨額の受取超過を示した。

庶民金融機關としては昨年三月三政府に各一行づゝ資本金百萬圓の實業銀行が創設された。これは當該地域内の有力錢莊、錢舖を合同させ、蒙銀が半額を出資して出來たもので、蒙銀が實務の指導に當り、農事貸款、商工貸款等によく庶民金融機關としての使命を果しつつある。蒙銀への監督、命令權は勿論蒙疆聯合委員會の握る所であつて當地域下の金融機構は一元的統制の下に確立

されよく今後の経済建設に備へてゐる。  
貿易事情について概観するに、蒙疆三政府成立以來一ヶ年間の輸出超過は數千萬圓を示した。然し蒙疆物資の外國向輸出は大部分は天津に在る外商の手に握られてゐた關係上、一時は少なからざる資本の逃避が行はれ、外貨獲得に障害を來たすと共に地域内物價の騰貴を誘致し通貨價値維持にも支障を來たすが如き實情にあつた。よつて蒙疆政府は昨年十月通貨取締令を公布して金銀、證券及び手形の搬出及び送金の取締を行ひ、また鐵、石炭、金、銀等の重要鐵產物三十七種、獸毛、獸皮類一切、油料實子、卵及び同製品等の搬出を許可制とし、許可の條件に (一) 圓爲替を組むこと (二) 一志二片建の外國爲替を組むこと (三) かくして得たる圓爲替及び外國爲替は之を蒙疆銀行に賣却すること等を附し、前記の弊害除去に成功した。

### 交通と通信事情

蒙疆政権下の鐵道は京包線と同蒲線の一部で、現在は滿鐵が委託經營に當つてゐる。鐵道運輸の附帶業務たる

小運送の統制については昨年七月資本金百萬圓の蒙疆運輸股份有限公司が創立された。  
自動車交通は昨年八月創立された蒙疆汽車公司(華北汽車公司四百萬圓、蒙銀二百萬圓共同出資)の獨占事業で、主要路線二十八、總延長三千軒に及んでゐる。なほ公路の擴充については昨年三月蒙疆主要路建設大綱を建て既に着手してゐる。

通信事業は昨年三月蒙疆電氣通信設備株式會社(資本金一千二百萬圓、蒙疆各政府、蒙銀、國際電氣通信會社、日本電氣電話工事會社出資)が設立せられ、既に電氣電話は事變前の二倍に擴張され、通信網は全地域に及んでゐる。ラヂオ放送局は事變前には無かつたが、先般張家口に五〇〇キロワットの放送計畫が完成し、蒙疆新聞社(資本金四十萬圓、全額蒙疆政府出資、日漢兩字新聞發行)の新聞通信事業と相まつて弘報宣傳、宣傳工作等に重大なる使命を果しつゝある。



中支那がどこから何處までであるかについては明確な區別があるわけではないが、いま假りに揚子江流域地方を主とする左の七省と見ることになれば、その面積、人口は次の通りである。

省	面積(平方キロ)	人口
四川	四〇三、六三四	五〇、七六六、三五六
湖南	二一五、四五七	三二、五〇一、二二二
湖北	一八二、一一〇	二六、六九九、二二六
江西	一六八、二二六	二五、〇八〇、七六四
安徽	一四二、六八九	二二、〇九三、〇〇〇
江蘇	一〇五、六〇五	三四、六四一、九六八
浙江	一〇一、〇六一	二二、四四〇、一五一

計 一、三二八、七九二 二〇二、三三二、五八七

概算百三十萬平方キロ、人口二億だが、この中で皇軍の制壓してゐる地域としては、江蘇、浙江、安徽の三省で、面積三四九、三五五平方キロ、人口六八、一七五、一一九である。軍事行動は、四川を除く六省に及んでゐるが、完全に制壓してゐるとはいへず、浙江にしてもその約四分の一に過ぎぬが、ごく大雑把に見て、前記三省を算へ、面積に於いて四分の一、人口に於いて三分の一を『新生中支那』と見ることが出来るであらう。

この新生中支那が建設の巨歩を踏み出したのが昨年の三月である。その二十八日に、中華民國維新政府が南京に生れたのである。それは三權鼎立の憲政制度を實行



し、一黨專制を取消し、共產主義の排撃、日支親善、東亞の和平確立を目的とする政府であつて、成立以來すでに二年三月、北支の中華民國臨時政府との緊密な聯絡の下に、よく中支復興の大業を進めてゐる。成立の初め、その首腦部に、比較的無名の士が多かつたため、新政府の推進力に對して、多少の疑問を抱いた向きもあつたであらうが、それは杞憂に過ぎなかつた。黨國專制の政體に於いて、その人が無名であつたといふことは、たゞその操守の嚴と、中道を歩む正とを示すものであつたのであり、それ故にこそ、よくこの危局を支へて、今日見るがごとき業績を成就し得たのである。——畢竟、人選は誤まつてゐなかつたのだ。出づべくして川でた人々に依つて、期待されただけの、否それ以上の業績が擧げられたのである。すなはち、中央、地方治政機關の設立構成、政治の刷新、治安の恢復、民衆の撫恤、農村の復興、商業の振興等、一昨年未以後に於ける、中支諸般の情勢と脱み合はせて、よくこゝまで持つて來たと思はれるほどである。業績の大概を示して現勢を鳥瞰しよう。

政治建設

前述した通り、三權鼎立の建前であるから、當然行政・立法・司法の三院が中樞の最高機關であるが、その中の司法院は遺憾ながら未成立で、たゞその下に屬すべき司法行政部が出來てゐるばかり、行政、立法の二院でやつてゐる。最高行政機關たる行政院には外交・内政・綏靖・財政・教育・實業・交通七部がある(直屬機關として秘書廳と宣傳、印鑄、臨時通濟の三局がある)。故に中支の中央治政機關としては、二院八部であると記憶して置けばいい。地方機關としては、江蘇・浙江・安徽三省政府と、南京・上海兩特別市政府とがある。これら中央、地方機關の人的構成は左のごとくである。

- 行政院長 梁鴻志
- 秘書長 吳用威
- 宣傳局長 孔憲經
- 印鑄局長 李宜僑
- 臨時通濟局長 朱 燾
- 外交部長(代理) 廉 隅

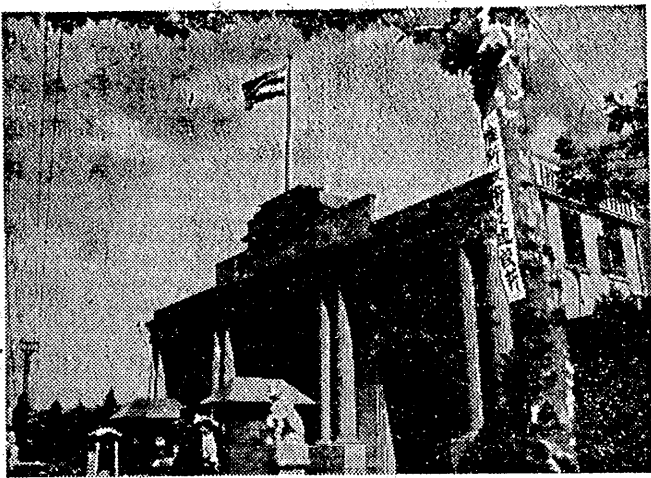
- 內政部長 陳 群
- 綏靖部長 任 援
- 財政部長 (缺)
- 教育部長(代理) 顧 澄
- 實業部長 王 子
- 交通部長 江 洪
- 立法院長 溫 宗 堯
- 秘書長 葉 先 圻
- 司法院長 未定
- 司法行政部長 胡 枬 泰

- 江蘇省長 陳 則 民
  - 浙江省長 汪 瑞 閔
  - 安徽省長 倪 道 煥
  - 南京特別市長 高 冠 吾
  - 上海特別市長 傅 宗 耀
- 中支復興の第一着手は、治安の恢復でなければならぬ。この意味からいつて、内政部と綏靖部の地位は、外

から考へるより以上に重要である。内政部は部内に總務、民政、警政、衛生、統計、土地の六司を持ち、成立以來極力内務行政に力を注いで來た。先づ省・道・縣の組織條例を定め、縣の下に城・廂・鎮・鄉の自治機關を設け、清鄉、保甲、戶口等の各辦法を制定して、地方秩序の整備に努めた。警察行政方面では違警罰法、縣知事任用條例等を制定し、警官學校、警士訓練所等を設立して、地方行政及び警察方面の幹部養成に努めた。その他水害の防止と救濟、地方倉庫の管理、救濟院の設立、土地施行法、檢疫條例、出版法、著作權法、醫師・藥劑師、助産士規則制定等を行つた。

綏靖部は軍事機關であるが、當面の任務としては地方治安の維持に力を注ぐ建前で、部内に二司七科を有し、治下三省に綏靖區を設け、各司令官を派してゐる。軍官學校も昨年十月成立し、一方綏靖隊の編成に努めて居り、本年二月現在で、その數四萬四千となり、これに歸順申込み四萬を加へると、近き將來に於いて約九萬の部隊となるであらう。今や治下に於いて集團兵匪の影を没するほどになり、綏靖隊の實力もやうやく充實して

来た。去る二月上海共同租界で外交部長陳錦屏氏が暗殺された時、租界周辺に綏靖隊を配置し、敏速にテロ團の行動を封じたとき、その一例である。この陸の綏靖隊に



五色旗の旗幟へ新政府

呼應して、水の綏靖隊たるべき水巡艦隊の創設が決定され、目下その準備を急いでゐる。  
一方民衆組織に依る自衛的治安工作としては、例の保甲制度なるものがあり、これと併行して、防共青年團の組織が進行して居り、本年度に於いて百三十五萬人の團員獲得を目ざしてゐる。  
外交部は成立以來日本の援助下に外交工作に努め、江海關の接収、上海租界警備局との折衝等をやつてゐる。駐外使領館組織條例も出来て居り、近く中華民國政府聯合委員會及び中華民國臨時政府の同意を経て、東京その他に辦事處を設立することとなつてゐる。

### 文教と産業建設

文教方面は教育部(二司、十一科、四督學)で鋭意努力中で、今までに小學校法、高等學校法、專門學校法、師範學校法、大學法、留學規程、臨時教員養成所規程、教育督察規程等を制定してゐるが、まだ大學設立には至つてゐない。教科書の編纂も小學校と中學だけが出来上つてゐる。文化建設の基本調査としては、毎月東方文化座談會を開催して日支文化界の名士を集めて協議してゐる。優秀

學生を官費留學生として日本に派遣する計畫が立てられ、近く實現の筈である。

司法方面は司法行政部(四司)の下に江蘇、浙江、二高等法院が設立され、江蘇、上海、吳縣、無錫、杭縣五地方法院も完成を見るに至つた。司法人員の登記を行ひ、合格者を司法官に任命したが、將來ますますこの方面の人員を要するので、本年五月司法人員養成所を設立した。養成人員二百人、期限一年。

實業部は部内に漁牧、工商、農林三司がある。維新政府としてはその成立以來、焦土に沈没してゐる民衆に衣食住を興へることが最大急務とされ、農村の復興、工業の恢復、漁牧の奨励、鑛産の開発、消費の調節等が、最も緊急を要する施設とされるので、従つて實業部の責務は最も重大であつた。然し王子恵氏を長とする同部は、相當の成果をあげた。

即ち昭和十三年四月から五月にかけて、部内に農村復興事務局・茶葉產銷管理局・絲綢產銷局・水產產銷局・食糧產銷局を設置してこれに對處するとともに、京滬、滬杭兩鐵道沿線に調査員を派して破壊の状態を調査させ、復興方法の發見に努め、その結果復興動力を日本に求め

た。

かくて十三年十一月から本年四月までを實業工作計劃第一期として綿業改進機關の設立、絲綢事業の徹底的改革、國立工藝院の設立及び手工工業の奨励に依る失業災民の救済、鑛業條例の改訂、度量衡局の恢復、地質調査委員會の充實、中央農業實驗所の整理、中央林區管理局の回復、炭坑の恢復、南京、上海總商會の恢復、商標局及び商檢局の改進、製紙印刷事業の改進等の實現に努め、更に本年五月から十一月までを第二期とし、農業專門技術訓練所の創設、三省に農業實驗區の設立、昆蟲局の恢復、氣候觀測所の恢復、浦東アルコール工場との接収、漁牧司の改進工作と華中水產會社との合作等を計劃してゐる。

### 交通

交通方面に於いては昔から南船北馬と言はれてゐる通り中南支の地方は揚子江を根幹として數多のクリークが縦横に走つて居りこの水上交通がその生命である。このクリークの輸送に付いては上海を中心とし上海内河汽船會社が昨年七月設立され其の重要な任務を果しつゝある。



又鐵道の方面は交通部(八科)の努力に依り、京滬、滬杭、蘇嘉各鐵道の修理成り、上海・南京間急行六時間を通るやうになつた。將來日支合辦の華中鐵道會社に依つて、一府鐵道網の擴充が見られるであらう。陸上交通については昨年十一月華中都市公共汽車公司が設立され、上海・南京等八都市の市内バスが開通した。

航空では大日本航空會社が上海―日本線に就航してゐる外、中華航空會社が本年三月から上海・南京・北支線を開航した。

郵便事務も治安恢復に連れて復舊し、約三百局が事務を開始してゐるが、近く蘇浙皖郵政總局設立の運びとなつてゐる。電信電話については、昨年六月華中電信會社が上海國際無線電線を接收し、中支相互間をはじめ北支、日本及び諸外國との無線聯絡の端緒を開き、七月同社の事業を繼承した華中電氣通信會社が上海各電話局を復興し、順次南京、杭州等各局に及び、十月日本と無電開通、本年一月上海、蘇州、南京間長距離電話が開通した。

### 財政金融

税に先づ着目しなければならぬ。果然昨年五月、日英間に海關處理に關する取極めが成立するや、財政部はただちに江海關を接收するとともに海關監督を任命し、時を移さず六月關稅引下げを斷行し、十一月に入つて共同租界内に於ける江海關の樓上高く五色旗を懸へすに至つた。最近では、海關から毎月正金銀行に預託される關稅收入は一千万元以上、これに統稅收入五百萬元を合すれば年收約二億八千万以上に達し、充分諸經費を賄つて行ける譯である。

尙ほ統稅機關としては蘇浙皖稅務總局がこれを統轄して居り、鹽稅機關としては鹽務管理局(昨年五月成立)を中心に機構擴充を急いでゐる。維新政府治下の產鹽場たる兩淮、兩浙からの鹽稅は、事變前年額約八千万元だつたから、鹽務恢復せば財政上非常に有利であらう。この外田賦、家屋稅、營業稅等の地方稅の整備については、財政部からそれ／＼各地に調査員を派遣してそのことに當つてゐる。

民衆負擔の軽減に關しては、先づ地租の免除を行ひ、次いで本年二月一日を期し、事變以來賦課されて來た益金類似の一切の地方稅(貨物、落地、出産、搬出等種々の名

復興には金が要る。その臺所方を引受ける財政部(四司)の辛勞は、けだし並大抵のものではあるまい。民衆の負擔を成るべく重くせず、しかも龐大な復興經費を賄つ



(てに昌武) 士道と隊兵

で行かねばならぬところに、財政當局の苦心が存するわけである。さうするためには、どうしても關・鹽・統三

瀨野覺氏筆

目がある。を撤廢し、その代りに地方交付金制度を確立して、中央の財政的指導權を立てた。その他財政部の行つたこととしては、國民政府發行の五億元國防公債等の無効を宣言したこと。國民政府の濫發する流通券の流入を禁止し、人民の紙幣携帶數を制限してその流出を防いだこと。財政計畫委員會を設け、財政整理及び新規並びに改革を要すべき諸事項の研究調査に當らせてゐること。鹽務管理暫行條例、金融機關取締條例、非常時財政經濟擾亂取締條例を制定したこと等。而して最大の業績は、本年五月成立の華興商業銀行の設立である。

中支通貨政策に關しては、豫ねて興亞院華中聯絡部をはじめ現地各機關、並びに維新政府當局に於いて慎重檢討を遂げつゝあつたが、本年五月に至つて、つひに華興商業銀行を上海に創立することとなつた。右に關し興亞院は五月一日左の通り發表した。

中支方面の金融は事變後著しく凋弊して居り、之が打斷疏通を圖ることは民衆經濟生活の復興安定上極めて緊要とするところであり、之が對策を講ずる必要があるから維新政府に於いて各般の事情を考慮し種々研究中であつたが、この程

成案を得、左記の如き内容を有する新金融機關を設立することとし、来る五月一日創立總會を開催する運びとなり、我が國としても出来る限りの援助をなす事となつた。

記

- 一、名稱 華興商業銀行
  - 二、總行所在地 上海
  - 三、資本金 五千萬元全額拂込
  - 四、出資者 華興商業銀行及日本側銀行、但し中華民國側並に第三國側の好意的參加は之を歓迎す
  - 五、業務 華興商業銀行貿易通商關係金融に重點を置く
  - 六、特權 強制通用力ある銀行券の發行
  - 七、新銀行券 法幣と大體一対一にて自由に外貨に兌換せらるる
- かくて五月二日上海新亞ホテルに於いて支那側梁鴻志行政院長、湯宗堯立法院長以下各部長、日本側津田與亞院華中聯絡部長、原田維新政府最高顧問等多數來賓、列の下に華興商業銀行創立總會を開催、梁行政院長の挨拶に次いで定款の決定、重役の選舉をなし、正式に創立を中外に發表した。當日維新政府の發表した聲明は、本銀行設立の趣旨及び行の性質を最もよく解説してゐるから、左にその要點を引用して置く。

『中央、中國、交通、中國農民等の發券銀行は悉く蔣政権の政治的、軍事的目的に左右せられ、銀行の經濟的職能を忘却し、民衆の金融上經濟上の利便は全く杜絶せられ居れり。而も金融機關の内容は日に悪化し、僅かに餘喘を保つのみ。一たび金融通貨機構の崩壊よりする災禍を思へば眞に慄然たるものあり。速かに適切な手段を講じ、金融通貨の方面に於ける病的現象を匡救するは我が中支復興の要諦焦眉の急と謂はざるべからず。これ華興商業銀行を設立し新通貨を發行せしむる所以なり。本銀行はその設立の趣旨よりして純粹なる經濟本位の商業銀行にして、主として貿易通商に付き金融の圓滑を計り、以つて民衆の經濟的伴侶たらん事を念願するものにして、本政府は本銀行の重大なる使命に顧み、本銀行をして凡ゆる政治的考慮乃至干渉より獨立せしめ、その堅實なる發展を期するものなり。而して本銀行の發行すべき新通貨は、常に自由に外貨に兌換せらるべきものにして、本政府は責任を以つてその價値の安定性を確保し、之に依り不當なる政治的壓力の下に、その將來に全然信を措き得ざる法幣を取引要點とするために、不斷の不安裡に置かれある民衆の經濟的利益を保護せんとするものなり。』

護せんとするものなり。』

### 經濟開發

以上、維新政府の業績を中心として記述したが、これを日本側から見る經濟復興計劃より見るに、國策會社として周知の中支那振興株式會社がある。破壊せられた、或ひは停頓した經濟機構に復興の支援を與へ、資源開發、産業促進のために設立された資本金一億圓の國策會社で「中支那に於ける經濟の復興及び開發を助成するを目的とす」と、同會社法第一條に規定されてゐる。昨年十一月七日成立。持株會社であつて、自身は直接事業を經營せず、直接經營に當る事業會社たる子會社を作り、これに投資又は融資し、事業を統合調整し乃至統一的に指導し、特殊な場合にのみ自から事業を經營する建前である。

而して同會社の投資又は融資する子會社の事業は、(一)交通及び運輸に關する事業、(二)通信に關する事業、(三)電氣、瓦斯及び水道に關する事業、(四)鑛産に關する事業、(五)水産に關する事業、(六)前各號の外、中支に於ける公共の利益又は産業振興のため必要な事業、と

規定されてゐる(同會社法第十二條)。この規定に據つて設立された子會社を列記すれば前述した所と重複する部分もあるが左の通りである。

- (1) 華中鐵道會社(資本金五千萬元、本年五月成立。海南(舊京滬線)、海杭(舊滬杭南)、蘇嘉、京燕(舊江蘇)四線を經營してゐる。)
- (2) 上海内河汽船株式會社(二百萬元、昨年七月。)
- (3) 華中電氣通信株式會社(一千五百萬元、昨年七月。事業は放送を含む電氣通信事業の統制經營、電氣通信設備の貸付及び工事の請負、前項事業に附帯する業務並びに關係事業への投資。)
- (4) 華中水電會社(二千五百萬元、昨年六月。電氣水道事業に關する獨占會社。)
- (5) 華中鑛業株式會社(一千萬元、昨年四月。江蘇、安徽の鐵礦開發が主眼。)
- (6) 華中水産株式會社(五百萬元。)
- (7) 華中都市公共汽車公司(三百萬元。)
- (8) 上海恒産會社(二千萬元、昨年九月)。不動産業務。



中支那振興株式會社子會社  
 本店：上海  
 資本金：一億圓  
 總取：兒玉謙介

會社名(支那名)	設立年月日	資本金	所在地	業務
華中鐵業株式會社 (華中鐵業株式會社)	昭一三、四、八	一千萬圓	(上海)	中支に於ける鐵礦並びにその他の鑛物に關する鑛業とその附帶業務
華中水電株式會社 (華中水電株式會社)	昭一三、六、三〇	二千五百萬圓	(上海)	中支に於ける電氣、水道事業の統制經營
上海内河汽船株式會社 (上海内河汽船株式會社)	昭一三、七、二八	二百萬圓	(上海)	中支主要内河航路に於ける旅客及び貨物輸送その他
華中電氣通信株式會社 (華中電氣通信株式會社)	昭一三、七、三一	千五百萬圓	(上海)	中支に於ける電氣通信事業の統制經營その他
上海恒源株式會社 (上海恒源株式會社)	昭一三、九、一〇	二千萬圓	(上海)	上海附近の都市港灣建設事業、土地建物買賣賃借利用及び管理その他
華中市自動車株式會社 (華中市自動車株式會社)	昭一三、一一、一五	三百萬圓	(上海)	中支主要都市に於ける市内乘合自動車事業、乗用トラックその他
華中水産株式會社 (華中水産株式會社)	昭一三、一一、三〇	五百萬圓	(上海)	生魚卸賣市場の經營並びに水産物の賣買、中支沿岸トロール漁業並びに汽船底曳網漁業經營その他
大上海瓦斯株式會社 (大上海瓦斯株式會社)	昭一三、一二、二七	三百萬圓	(上海)	上海に於けるガスの供給、ガス副産物の精製並びに販賣その他
華中鐵道株式會社 (華中鐵道株式會社)	昭一三、四、三〇	五千萬圓	(上海)	中支の鐵道と都市間長距離バス事業
華中製絲株式會社 (華中製絲株式會社)	昭一三、八、一〇	一千萬圓	(上海)	中支に於ける機械製絲事業の統制經營暨種々の製造及配給その他
淮南炭礦株式會社 (淮南炭礦株式會社)	昭一四、六、一五	一千五百萬圓	(上海)	石炭の採掘及附帶事業

### 正しき認識の下に 支那民心を把握せよ

我々が現地に於て遠く故國の民心を考へたり、大陸に渡來し來る人々を見たりするに、支那事變に對する正當の認識を缺くもの意外に多く、從つて新支那建設のため努力を怠り、却つて大業の障礙となるものも少なくない。ことに最近においてかゝる傾向が顯著なるかに見えるのは、日支のためには又事變の犠牲となつた人達のために、遺憾に堪へざるところである。

支那事變の本質を認識せよ—これが先づ解決問題である。つきに私の特に強調したいのは、この支那事變の本質を具現するたためには、先づ支那並びに支那人にたいして正當なる認識と評價とを誤るなかりと

に日清戰爭時代からの骨髄的な支那観や、今度の支那事變で明らかとなつた支那滲入の非科學的利己的支那觀から脱却して、現代の支那並びに支那人を直視してそれへの認識を新たに、正當にせよ—と私は言ひたい。

支那事變の目的眞實と云ひ、東亞新秩序の建設と云ひ、この現代の支那及び支那人に對する理解なくしては決して遂行し得ないと言ふに、吝かでない。かゝる理解なくして、存続を重ねても混沌以外に何もかももたらすものでない。

現代の支那人を以てて利己的、打算的、非國家的な個人主義者なりとするが如き見解を以てて臨むのは大なる誤りで、近代支

那人の覺醒した指導階級インテリ層なるものは愛國精神旺盛で民族意識亦強烈である。これ等の意識は過去二世紀に互る外力浸潤の極度下—一時は無氣力になつたのであるが、此の間に醗酵せられた排外思想は必然的に國家思想を次第に昂め、殊に最近國家統一の手段として抗日救國を國內思想指導の「スローガン」に掲げこれにより急角度に盛り上つて來たものである。

一、二の権力者なり軍閥を抱き込めば、支那民族はついて來ると思ふのは全く時代錯誤で、一吳佩孚、一汪兆銘も單獨では決して民心を動かすことは出來ない。恐らくは蔣介石と雖も、民心を離れては何事もなし得ないであらう。政治によつて動かすことの出來ない社會の力のあることを見逃してはならない。

力によつて動かし難い支那社會の力をしつかり認識する必要がある。漢の高祖は「馬上に天下を取るは易いが、馬上で天下



を治めることは出来ぬ」と云つて天下を治めるの道は人心の把握であると喝破した。暴力によつて天下を取つた支那の歴史は一日戦を収めると、絶大の努力を民心收攬に傾倒したことは、歴史に明らかである。社會と接觸し得ない政府が出来れば、社會には政府と遊離した組織精神が出来ぬ。滿洲に起つた清朝が武力によつて漢民族を征服したのに、三百年の基礎を作りあげたのは決して偶然ではない。今次の戦争は本統の聖戰で決して支那の民衆を敵として居ない。領土もいらいぬ、償金もいらいぬと聲明してゐる。全く佛様のやうな戦ひ方である。大義名分から云うても支那の人心が跟いて來ぬ管がない。それが何時迄経つても抗日氣分が抜けないのは何のためか。日本は高い理想で戦つて居るのに支那人に接觸する日本人の中には聖戰の眞義を辨へず、支那人の動向を省みず、戰捷の餘威を驅つて無辜の支那人を敗殘の敵國民と考へ、目前の小利を追つて支那人を擄取の對象とするが如き

は謂はなからうか。心なき營利業者は江南に横はる工場財産等に目を呉れてゐるが、支那民衆の心を擡んで土の中から數十億の利益を擧げることには着目しない。數萬の英鎊は斷じて目前の小利打算の爲めに支那民衆の心を離反せしめ、大陸發展を元も子もなくするやうな人種の爲めにそんな侵略的な戦争はしなかつた筈だ。獨佛戦争のやうな仇敵の間柄の戦争ではない。心なき日本人の遣り口では結局日支兩國民を仇敵の間柄に追ひこむ結果となる虞れがある。今次の戦争は眞に避け難い戦争であつた。これは日本人も支那人も諦めなければならぬ宿命だつた。然し日本の遣り方一つで雨降つて地固まるの結果となる。それがためには何よりも先づ支那人をして日本人を信頼せしめることである。不幸な國家に育てられ來た民衆だけに温い理解と指導には無條件で飛びこんで來るはずである。東軍の新秩序と云ひ、東亞協同體と云

ひ、理論や政治や外交だけでは決して到達し得ない。その第一條件は日本國及び日本人に對し支那人が親しみを覺えて來るやうになることである。衛策や權謀では人の心を握ることは出来ぬ。さもししい強奪的な氣分では決して支那人を心から引きつけることは出来ぬ。長い間抗日の温床に育てられた支那人心を百八十度轉回せしむるには、蔣介石政権下にあつた時よりも、相當幸福な生活が嘗み得ると云ふ實證を體驗せしむる仁徳と、英、ソ等の壓迫下に半殖民地的悲境にあつた時よりも、幾倍明朗な氣分になり得たと云ふ實證を體驗させることが是非必要である。日本人は須らく從來の舊套的支那及び支那人觀をすてて現代の支那及び支那人を正しく認識し、この認識の上に善政を布き、かくて支那人の心を掌握し、擄取することによつて新支那建設の大業を達成すべきである。

# 南支の現勢



南支といつても、何處から何處までとハッキリ區劃を明示する言葉ではないが、自然地理的に支那本部を黃河流域地方、揚子江流域地方、珠江流域地方の三つの地方に分けて、それ／＼北支、中支、南支として考へるのが便宜的である。珠江は福建省を流れず、また雲南省の大部分は珠江よりもむしろ揚子江上流、瀾滄江、紅河、怒江等の流域に屬してゐるが、廣東省、廣西省、貴州省のほか雲南省と、それに福建省をも入れて便宜上、南支としてあつかはれる場合が多い。

南支には種々の漢族以外の民族が多く居住してゐる。なかんづく、苗族はその總數約一千萬人といはれ、貴州省(東南部)を中心とし、多くは穴居生活をし、農耕をいとむが(雲南にゐるものは牧畜に従事、言語及び風俗も多種多様である。その他、廣西省、廣東省の西南部及び西北部にゐる瑶族、雲南省、貴州省にゐる羅羅族、雲南の西南部にゐる白夷など、及び海南島に住む黎族、福建省(閩江の下流)や廣東省(珠江)に水上生活をすする蛋民などもゐる。なほ漢族の別派には、廣東省(梅縣)を中心とし、東は福建省及び臺灣、西は廣西省、南は海南島に及ぶ客家(土着に非ざるもの意味)なるものがあり、また廣東省の東部潮州、汕頭一帯にゐる潮老(福建のもの意味)といふのがある。客家及び潮老は華僑として南洋に住するものが多い。産業 珠江三角洲は米の産地として知られる。甘蔗は南支の特産で、珠江流域及び珠江三角洲に産

する。生絲も珠江三角洲地方は揚子江流域に次ぐ産地である。その他、茶、煙草、桐油等の産も少なくない。

南支に於ける石炭の埋蔵量は雲南省、貴州省、廣西省に多く、鐵は福建省に産し、銅は古くから雲南省がその産地として知られ、錫は雲南省、廣西省、廣東省に産し、マンガンは廣東省に、アンチモニーは廣西省及び貴州省に産する。しかし、礦物資源の調査は完全に行はれておらず、従つて發掘事業も大ていは小規模であり、十分になされてゐない。

特殊鋼の原料として軍需工業に不可欠のタングステンは廣東省の北部に産し、その産額は江西省に次いで、第二位を占め、江西、廣東、湖南三省の産額は世界産額の過半を占めるといはれてゐる。

福建省の漆工業は支那第一と稱せられるが、同省における馬尾の造船工場、閩侯の製紙工場、漳州の製糖工場等は同地における新式工業の代表的なものとして知られた。また製絲、紡織、製糖、マツタ、セメント等の工場も多く、廣州市、南海、惠州等がこれら近代工業の中心地となしてゐた。

買 易 南支の物産は香港に集り、香港が對

外貿易の中心であつた。そして上海陥落後は、中支の貨物も粵漢線を通じて香港に集り、一時香港の對外貿易は上海の繁榮を奪つて非常に増加した。だが廣東攻略が開始され、また武漢作戦の進展と共に粵漢線の利用がわが軍によつて阻まれるに至り、その後また海南島攻略があり、土貨の運輸はいよゝ困難を増し、香港貿易は減少した。

今年春季(一、二、三月)において支那内地の土貨が香港に運ばれた總額は僅かに四六、〇二九、二二四元(香港幣)で、これを昨年春季の五八、五九〇、八五四元と比べると二二、五六二、七三〇元を減じてゐる。また香港から支那内地に運ばれた貨物の總額は今年春季におよび二四、四〇二、九三三元で、これを昨年春季の六六、三三〇、三三四元と比べると四一、九五七、四二一元といふ減少である。しかして今年三月に香港に集つた土貨の總額は一五、六〇八、七三三元で、そのうち最も多額に上るものは桐油(主産地は湖南、湖北及び四川であるが、雲南及び廣西にも産す。大ていアメリカへ行く)で、次に藥材(主産地は四川であるが、南支にも産す。華僑の住する海外の地、即ち安南、馬來、暹羅、アメリカ等に行く)及び麻

毛(主産地は四川、齒フランの原料としてアメリカへ行く)である。

南支、といふより全支那貿易の年々入超を補填し來つた華僑の送金は、支那の經濟及び政治にとつて極めて重要なものである。一九三二年より一九三六年まで五年間における華僑送金の總額は二六億七千萬元にのぼり、この華僑送金は入超の八五・二パーセントを補つてをるといふ状態であつた。殊に南洋經濟力の七、八割をその手中に收めてをる六百餘萬の南洋華僑(暹羅、馬來、蘭印、佛領印度支那、フィリピン)が支那專變以來、直接間接所謂「抗戰」への經濟的援助は莫大なものがあるが、日本の勝利の確定的となるに伴ひ將政權側の懸命の働きかけにも拘らず彼等の援將熱も漸次稀薄となり財政的援助を積極的に行ふ等のことを嫌ふに至つて居る。

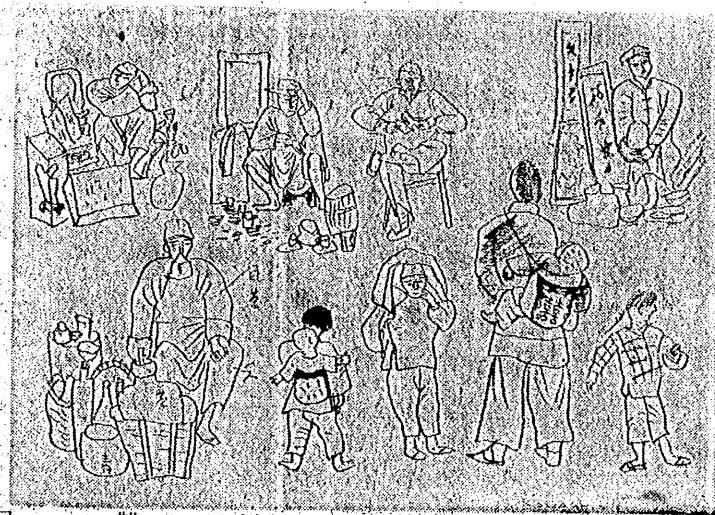
交 通 鐵道の主要なるものは、粵漢鐵路本線と、廣州市から四方の佛山(南海)を経て三水に達する支線廣三線(四八軒九二)、廣州市と香港對岸の九龍を結ぶ廣九線がある。この外、東部の潮州と汕頭を結ぶ潮汕線(四三軒七三)、珠江三角洲の二商港、江門より西南斗山に至る新寧線(二二七軒三〇)、厦門の對岸、嵩嶼と漳

州とを結ぶ漳廈線がある。

雲南省の昆明より、佛領印度支那海防において外海に出る滇越鐵路(昆明、河口間四七〇軒)は、將政權の武器輸入ルートとして沿海封鎖以來重要視されてゐる。

湖南省の衡陽から廣西省の桂林に至る湘桂鐵路(一六〇軒)は昨年九月に完成されたが、この外、將政權が西南開發のローガンと共に、建設に着手してゐると發表してゐるものに雲南省の昆明と四川省の叙州とを結ぶ叙昆鐵路(七七四軒)、昆明から鎮南、雲南を経てビルマに通ずる滇瀾鐵路、貴州省の貴陽から粵漢線の株州湖南)に連絡する湘黔鐵路等がある。

道路としては雲南省の昆明からビルマに通ずる滇瀾公路(九六四軒)が最近完成したと將政權は發表してゐる。蓋し援將輸送路としては有力なものであらう。また昆明から廣西省の桂林に至る滇桂公路も建設中だといふ。廣西省は道路が最もよく發達してゐるといはれ、桂林から廣東省に通ずる桂粵公路、雲南省に通ずる桂滇路、貴州省に通ずる桂黔公路がある。貴州省と雲南省とを通ずるものに黔滇路がある。福建省と廣東省とを通ずるものに閩粵路がある。

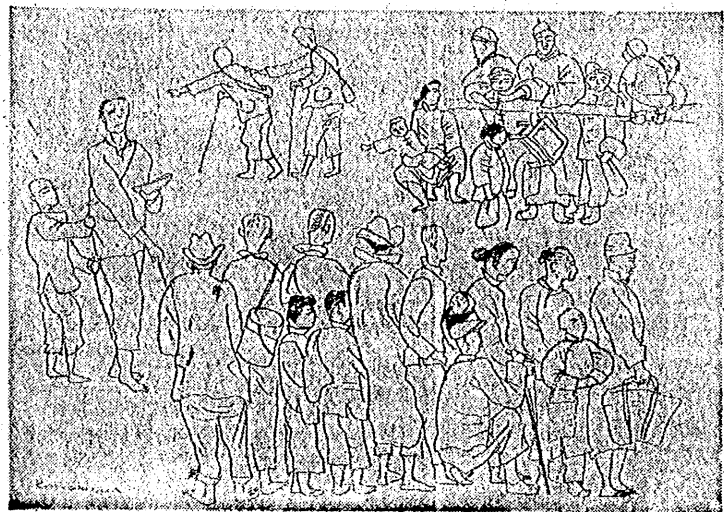


民 難 避

昨年五月十日未明に敢行された福建省の厦門島敵前上陸戦に火蓋を切つて、南支の各地はわが精銳の攻略するところとなつた。十月十二日バイアス灣の敵前上陸により、瞬く間に南支の重要地、廣州市が攻略され、附近一帯が掃蕩され、また本年二月十日海南島に奇襲上陸、忽ち同島はわが制壓下におかれるに至つた。而して南支の各占領地には到るところ續々治安維持會が成立して、明朗な新秩序建設は着々進行しつゝある。

廣東方面では、皇軍の攻略後半月後の昨十三年十一月一日には、早くも惠州に治安維持會が出来たのをはじめ、同三日明治節の佳節を以て廣東省第二の都會、佛山鎮にも治安維持會が生まれ、それより明則廣東建設の第一歩を踏み出した。

次いで廣東では、皇軍占領後間もなく生れた街々の自衛團聯合會を母體とし、十一月二十七日、我が陸海軍當局、總領事館等の援助の下に、廣東自治委員會が発會式を挙げ、呂奉榮氏を委員長に早くも、治安、民政、財政の各方面に互つて、力強い活動を展開した。更に十二月二十日には新生大廣東建設の核心となるべき廣東治安



景 風

維持會成立典禮大會が、中山記念堂で厳肅に舉行された。會衆約三萬、民衆の歡喜と期待の下に……願はくは本日を目指して對内的には速かに繁榮を恢復し、民の衣食住を安んぜしめ、對外的には防共の旗幟の下に日支滿の提携を實現せしめ苛徴雜税を全廢し廣く衆の言を聽かん事を期す。大廣東の豊かにして輝ける精神を日本帝國の東亞和平政策と結び百粵の膏を用ひて、東洋經濟互助の基となし、共存共榮を實現せしむべし。日支兩國は同文同種なり天下俊秀の士將賊の言に迷ふことなからんことを望む……との宣言が發表され、委員長には彭東原、副委員長に呂奉榮、委員に商衍懿、廖銘、卓球、陳紹唐、梁永棟が選ばれた。これと同時に委員會機構を確立し、正副委員長を加へた十名の委員からなる合議制の最高委員會の外に、諮問機關として參議、諮議を設け、行政機關としては、秘書處、治安處、民政處、財政處、復興處、司法處、外交處を置き各般の行政を管掌することに決したのである。

これより先、廣東の治安が、皇軍の手によつて恢復すると、各地から避難民が歸る。我が在留邦人も復歸する、鐵道バスも復歸する、廣東迅報をはじめ新聞も發行されるといふ具合に、日を追つて生色を取り戻すばかりか新

川島理一郎氏筆



生廣東への躍進を見せ、廣東税關は我が方の手に接收されて管理され、財政建設も緒につくこととなつた。

更に本年三月末ころからは東莞製糖工場も操業を開始、五月一日からは邦人の小學校も開校、街では支那の婦女子までが廣州市婦女維持會を結成して治安工作に協力する程になつては來たが、まだ依然として、廣東の周囲には抗日の迷夢のさめぬ國民政府軍が妄動してゐる。皇軍は引つゞき、或ひは陸地の殘敵掃蕩に、或ひは空爆に、或ひは珠流のデルタ掃蕩に、武力戦を行つてゐる有様であるから、明朝廣東建設には今後とも更に努力が必要であらう。

海南島 海南島の情況を見ると、二十十日の澄邁海軍上陸、即日首都瓊山と海港海口占領とすばらしい戦果を収め、直ちに宣撫活動が開始され、十八日には瓊山治安維持會が生れ、二十日には同地に我が總領事館が開設され、超スピードで建設への歩みは進んだ。三亞、崖縣その他の攻略、殘敵掃蕩の進捗と相まつていまや全島の新生時代がもたらされようとしてゐるが、寶庫海南島資源の開発はまだ、今後の問題であらう。ともあれ、海南島制壓によつて、我が海軍による沿岸封鎖

は一層強化され、海上援蔣線に大きな打撃をあたへたことはたしかである。

厦門 我が南支の據點厦門は、とこよりも早く昨十三年五月十日攻略、同月二十七日には鼓浪嶼にある厦門總領事館も開館され、六月からは内地人や臺灣人もぞくぞく歸り、臺銀支店の開業、厦門警察局長の新設、厦門復興委員會の新設と着々と復興の途上であり、次いで興亞院厦門連絡部も設けられ、交通、通信、産業、教育等が復舊改善され概ね事變前の状態にかへつた。時たま去る五月十一日親日支那厦門總商會長洪立勳氏が鼓浪嶼で狙撃され死亡した事件が発生し、つひに鼓浪嶼租界問題に發展してゐることは周知の通りであつて、我が方としては東亞新秩序の建設を敢へて妨害せんとするものに對しては毅然たる態度をもつて臨むことはいふまでもないことである。

最後に汕頭は六月二十一日未明陸海軍協力作戦によつて占領せられ、今後南支方面の重要な據點として建設時代に入ることであらう。



### 鏡と兵隊

私は或る田舎の部落に數日居た時に、馬鹿々々しいことに、鏡の美しさに嘆いたことがある。湖州を出發してから、私は一日八里以上の行軍を続け、足を豆だらけにしてその部落に着いた。先頭の部隊は敵の大部隊と衝突して激戦し、その戦場に協力した飛行機は、續けさまに爆弾を投下した。したがつて我々が進軍して行く道々には支那兵の死骸や脱ぎ捨てられた服、巻脚絆、外套などが散亂し、兩側に見られる家屋は時だけ残して燒

け、部落はことごとく慘憺たる廢墟と化してゐた。ところへ、黒く焦げた壁の間に、尙ほぶすぶすと消えやらぬ火が白い煙を立ちのぼらせてゐた。我々はまた我々で、泥と汗とにまみれ、顔面に眼をきよらぎよらさせ、おまげに黄塵を浴びて黄粉人形のやうであつたのである。つまり、我々の眼に入るかぎり一切のものが、荒涼として、たい殺風景であるばかりであつたのである。私達の小隊はその部落にあつた兵站の

### 短歌

南支派遺軍  
服部隊 吉川夢隊  
戦にへりに靴の裏を靴走の  
街に立ち打たす  
平田部隊 吉戒貞一  
谷川の水のせせらぎ木の葉ゆる  
南支の夜や螢むれとぶ  
森長部隊 岩城兼夫  
銃後守る君らいませば我等みな  
安き心に戦ひをなさむ  
井島部隊 篠崎龍吉  
ひとふさのバナナ賣りなほ一日  
のたつきをさるる國たみのあり  
パイヤの木陰にいこふ小休止  
思ひはるけしふるさとの空  
中島部隊 十時時十  
草に伏し大地のほひ喚く如く  
心静かに故郷しのべり

警護に残され、編笠を被せたやうな薄汚い民家を假の宿と定めた。ところが私は表の土間に投げ出されてゐるがらくた道具を兵隊に片づけさせてゐるうちに、びっくりと光つたものに氣つき、手にとつてみると、一箇の丸い鏡であつた。すると、私はこの荒涼たる戦場の中に、このやうに美しいものあつたことに驚き、その滑らかな鏡面と、その小さな圓の中にきらきらと映し出されてゐる青空とに眼をみはり、をかしなことに胸がどきどきしたのである。

その部落に到着した夜、町を縫つてゐるトラックに繋がれてあつた敵の軍船を、兵隊が発見した。見廻つてみた兵隊がその船を見つけて近寄ると、突然船の中から射撃を受けた。三人の兵隊はこれに應戦して、船に向つて突撃すると、隠れてゐた数名の支那兵はぱらりと逃げ去つた。船に入つてみると、船の中

には小銃機銃、手榴弾、迫撃砲等の弾薬箱がぎつしりと積み上げられ、それは何十萬發あるか判らないほどであつた。兵隊はこの由を早速私のもとに報告に來たので、私も喜び、小隊長に報告し、小隊長とともに部隊長の所へ行つた。その夜は雨の中を歩哨を立てて軍船の警戒をした。発見した兵隊たちも自分達の勳功を喜び、すゝんで歩哨の任に當つた。

ところが、翌朝になつて私は小隊長の下へよばれ、氣の毒だが、と前提されて次のやうに云はれた。あの軍船は既に昨日先遣隊によつて発見され、本部へ報告済みのものである。近來トラックは減水してゐる上に、あまり多量に弾薬を積んだので、敵の軍船は底をあてて擱坐してしまつたらしい。弾薬は處置に困るので、又既に敵も退却して取りに來るといふこともないし、その報告を受けたが放擲してあつたのだ。今朝日中に爆破してしまふ豫

中島(徳)部隊 神谷勝美  
戦ひのさ中にありてふとも見し  
曼珠沙華の赤き花群  
わが射てる重砲弾はたしかなり  
炸裂の音つよくひびきて  
たしかなる照準のなかに敵兵の  
姿小さくさだまりて見ゆ

天野部隊 星加光雄  
物々しく警備の街を巡察のヘッ  
ドライブに光る銃剣  
廣東の空を壓して轟々と朝まだ  
きより編隊機飛ぶ

井上部隊 小方 實  
警戒の中に入りくる支那人を叱  
れども又バナナ賣りに來る  
晝のうちに飯たき終り夜に入れ  
ば消燈して居りわが陣營は  
いくたびか弾丸の中をくぐり來  
し千人針は色あせにけり  
小倉市の女學生より慰問來ぬ素  
晴らしき圖書の入れてありたり

定である。それで折角兵隊が最初に発見して幽獲したと思つてゐるけれども、實は何にもならないのだ。私はそれを聞き、わかりました。しかし、そのことは兵隊に云はないでおいて下さい、と小隊長に云つた。

私はそのことをどうしても兵隊に告げることが出来なかつた。あんなにも喜んでゐた兵隊の様子やその折の危険であつた状況などを戦友に話してゐるのを見たりすると、その喜びを壊す氣にはどうしてもならなかつたのである。私は兵隊に向ひ、部隊長も非常に喜んで、褒められたさうだ、と、心にもないことを云つた。私はそれから、どうにも兵隊の顔を見るのが心苦しくてならなかつた。

或る夜私は便所に立ち、裏に出ると、壁越しに兵隊達が何か話をしてゐる聲を聞いた。あばら家の紙のやうな壁からは、中の話と聲が手に取るやうに聞えるので

ある。私は何氣なしに耳を傾けたが、ふと、軍船とか、弾薬とかいふ聲を聞きとがめた。すると、兵隊達は何もかも知つてゐるのである。つまり発見した軍船が既に前に報告済みのものであつて、何も今さら兵隊達の手柄にはならないといふことや、私が嘘をついてゐるといふことや、さうして彼等は、最後に自分達はそこを知らぬといふことを分隊長には黙つてゐよう、分隊長が俺達を喜ばせてやらうといふ氣持をこはすことは悪い、といふ相談をしてゐるのであつた。私はそれを聞き、熱いものが胸にこみあげて來るのを抑へることが出来なかつた。

翌朝、私達は顔を大白はせたが、私達は又もそらそらしい言葉を列ねて軍船の勳功のことを語つた。私は兵隊の顔を眺め、ふいと、鏡のことが頭に浮んだ。午後から爆破が行はれた。轟然たる音響とともに、軍船は破壊され、眼を廻した多くの魚

陣中にある際頭をかきさるため  
吾戰友も酒をつゝしむ  
爆竹を吉凶禍福に用ふらし墓場  
の方より轟く音す  
鈴木(徳)部隊 和田白嶺  
はるばると千里の海越え届きた  
るうまし懐し名代せんべい

井上隊 大長光達男  
白き花一つは遣りてその一は兜  
に挿して自らを飾る  
ひとと地に伏しあつ草の青き實  
を齒にまさぐりて涙を慰む  
中島隊 木田真一  
大沙頭廣場の雨にわらべらの髪  
もバナナも濡れて光れり  
四木(徳)部隊 一木櫻生  
遠く來てみればかなしも野の菊  
の赤土山の道そひに咲く  
日の光すでに落ちたりトラック  
の水面明りに米をとぐかな

が白い腹を横さまにして、無数にクリ  
の水面に浮き上った。

その夕刻、私達は出立した。

(火野葦平)



### レコードの影に

— 宣傳工作一夕話 —

— あの、レコードを掛け、歌を唄ひ、それから紙芝居をして、若い支那娘を通れた。ほんとに楽しいでせうね。私が宣傳班員であることを知った一人の兵隊さんは羨ましげに私の顔をみつめるのでした。事實、一人の兵隊さんに限らず、宣傳工作の實體を理解してゐられない方々の眼には私達の行状がその様にも羨しげに見られるらしい。



作氏助之俊山杉 隊部合河

#### — 北支派遣軍 —

町田部隊 今城佳夫  
泣くごとく唸りてわれの頭の上  
を重砲弾はつき〜にとびぬ  
ぬかるみに腰をうづめて幾とき  
かきりり光りて星はおちたり  
○部隊 水戸繁夫  
鼻腔ひらき息つき荒く鼻繁つる  
馬の蹄に火華散りつゝ  
田口延夫  
泥波をおし分け進む股に腰に流  
れ寄せる瀟草の軍み  
道草を食む馬叱る切なさや思へ  
ば馬糞絶えて久しき  
株 宏道  
野に山に春光溢れ大庭の下に大  
きく國おこらむとす  
新井政雄  
子をおきて母はいづくにのがれ  
けん泣かする子に菓子にあた  
へぬ

班員がトラックに載つて（乗るのではな  
く、貨物と一緒に載り込むのだが）  
山間の凸凹道を突走るのが一つの仕事に



もなつてゐるのだ。（發動機原形）  
或る時など乗用自動車に乘られた上  
司から「跟いて来い」と命令一下、トラッ  
クが七十軒近い速度で一時間も走り、或

る地の治安維持會發會式の開始時刻にや  
つと間に合つたことがあるが、この時に  
は嘔吐を催した者が出来、折からの豪雨  
を避けるために被つたシートの中で着病  
しつゝ目的地に急がなければならなかつ  
た話などは知らない者には分らう筈がな  
い。

殺伐な第一線近くに進出し、四邊は山  
間の僻地、そんな場所だ

誓つて敵郷を出たからは

レコードが擴大されたリズムを放散し  
て谷間に響く。

身だしなみも構つてゐられぬ農婦だけ  
しか見てゐない人達の前に現はれた廣東  
娘の瀟洒な容貌、態度が或る意味での魅  
力百パーセントと映するの不思議では  
なからう。さてこそ「お楽しみでせうね。」  
と来る。「喜んで知らん。古歌の

#### 俳句

##### — 南支派遣軍 —

楠本部隊長  
空爆の道つくりは野ばら咲く  
春泥に敵の鐵帽ころげあり  
養林部隊 木村 清  
荒鷲機バナナ島を塵つて飛ぶ  
河合部隊 大久保英伊智  
灼熱を浴びて舗道に靴みがく  
佐々木部隊 柴 浪 子  
蝶ひれて銃音もなき原野かな  
海 珠  
名も知れぬ木の非萌えけり野戦  
風呂  
柴 京 子  
春雨のしづくに光る鐵兜

ただ見ては何の苦もなき水島の  
脚に踏なきの苦しきよ

旅から旅へと何處を歩いても定めない  
旅人と同一視するためには餘りにも香  
氣の高い、餘りにも嚴肅なる、餘りにも  
重大なる任務を須臾も忘れず背負つて  
ゐる私達平和の使徒——これは又東亞百  
年の長計を基礎づけるために選まれた眞  
理の使徒と稱せらるべき役割ではある。  
この自負、この矜持こそは彈丸雨飛の中  
に飛び込むことすら厭はぬ勇猛心を喚び  
起させて呉れもする。

偕て目的地に到着し、敵國側の住民で  
ある營の廣東人が群り集つてゐるその  
裏中に入り込んだ私達は、無意識裡に  
國境を超越して、

眠れる獅子よ！眼を覺して——  
と、彼等に手をさしのべ、心にならな  
ければならぬ。皇軍の破壊工作に  
依つて逃げ惑ふ民衆をよび集め、僅々一

二時間の會合の終末には申合せたやう  
に、通譯を通じ、

「今日は御苦勞様でした。」  
と私達の勞を憐れつては握手を求め、談  
話を惜しむやうに見送つて呉れもする部  
落民の笑顔を見出した時、それこそ、私  
達は私達の役割の裡に心からなる樂しみ  
を持つことが出来るのだ。

東洋平和のためならば  
何で生命が惜しからう  
……………  
柔にして剛、剛にして柔。眼に沁みる  
やうな感傷を遣へて『露營の歌』が黄昏  
れる廣東の野邊に鳴り響いて來る一部落  
に向ひ、平和と挨拶と手を合はせる  
私達なのだ。茲にこそ私達は、倦くこと  
を知らない速日同曲の單純なレコードに  
耳新しく聞き惚れるのである。

一完—  
（南支那軍道部 柳田 義人）

珠 江 子  
木の芽雨片假名だよりつづるな

中島健部隊 三原六花  
霧ながら日輪のほり軍馬行く  
春の雨戰場病舎の夕餉とき  
かんめんば盡忠の墓標に手向け  
みる

河合部隊 小山歌三郎  
虫滿つる夜空眺めつ敵機待つ  
白衣の兵隊にひそとバナナ買ふ  
月圓か椰子を上りて暈を被ぬ  
少年の煙草のみつつバナナ賣る  
山本源兵衛  
村民に豫防注射の小春かな  
山下隊 水 翁 子  
柳散るやたむろしてゐる避難民  
あんべらの哨舎が竝ぶ寒さかな  
松元部隊 野口南風  
春雨に草標冠りし鐵兜



### 戦争・兵隊

うるほの少い戦地生活が兵隊の心を  
荒んだものにするといふことは、或る程  
度まで事實ではあるが、併しそれも心の  
持ち方如何によること、なかには、かう  
した精神的修養を逆用することによつて、  
却つて自分の性格なり情操を鍛へ且つ磨  
くやうな偉い兵隊も、お互ひのうちには  
きつとゐてくれると思ふ。

長城を越したあの時の苦しさ。今から  
考へてみると、當時のお互ひは不思議な  
ほど、頑健でそして眞剣だった。氣力と  
いふか、精神力といふか、とにかく肉體  
的の力以上のものが、我々を率ゐてあの  
激務に耐へさせてくれたのだ。がたく  
のトラックに器材と共に積み込まれ、凍  
りつくやうな寒さの中で土を掘り、鞍を  
碎き、橋を架け、吹雪にたふかれながら  
乾パンを噛つた作業當時のことを想ひ起  
すと、よくもあの辛勞に耐へたものと感  
慨もせざる、自分ながら目頭の熱くなる  
のさへも感ずるではないか。恐らくあの  
苦しい数々の體驗は、月日の経つに従つ  
て益々深い思ひ出となつて、二度と得難

- 中島健部隊 岩崎 虎勝
- 城壁の銃眼を覗ひ眺は入重
- 軍橋の名は大和橋益飛ぶ
- 益飛ぶや露營の準備すにな
- る
- クリークに米磨く兵や益飛ぶ
- 中島健部隊 三牧吉治郎
- 爆撃や若草原は揺れ來る
- 非湯部隊 柿田 治
- バナナ林青葉南支の空劃る
- 浦野隊 橋本豊太郎
- 日の丸の水田に寫る討匪行
- 〇〇部隊 平井重雄
- 夏我衣ほころびしまに年暮る
- 陣中日誌綴らぬままに年暮る
- る
- 石本部隊 山下幸紀
- 銃を持つ腕のけだるさ春といふ

い、そして何ものにも代へ難い美しい感  
懐のうちに我々の生涯を温め且つ勵まし  
てくれることと思ふ。

それから、〇〇から〇〇の今日に及ぶ  
永い後方勤務。茲には肉體的な苦痛こそ  
なかつたが、来る日も来る日も無味單調  
隔日まはつて来る勤務のほか、たるんだ  
心を鞭打つてくれるやうな何等の感度も  
なければ刺戟もなかつた。疲れ切つた毎  
日が、焦燥と無爲のうちに過ぎて行つた。  
無論〇〇の都會的な雰囲気と、〇〇勤務  
といふ精神的な不安さが幾分我々の心を  
和らげてくれたが、さうした環境的な感  
興も最初の束の間、やがて我々の心に襲  
ひかゝつたものは、底知れぬ憂鬱とやる  
せない倦怠、拳を握つて虚空を舞つやう  
な物憂い歎息が、どのくらゐ我々の生活  
をうつろなものにしたことか。飲むこと、  
食ふこと、そして買ふことのはかに何の  
楽しみもなかつた當時の生活に果してど

れだけ人間らしい生活があつたか。

蠅と埃と煤の充満した汚い宿舎、灼け  
つくやうな暑熱と蒸すやうな熱氣。勤務  
から歸つて一息つくとも、體はだるく、氣  
は重く、身も心も困り果てて、頭はがん  
がん狂はんばかり錯亂したではないか。  
勤務が激しかつたのではない。軍規が嚴  
しかつたのではない。身の置き所もない  
やうな憂鬱と焦燥が、我々を驅りたてて  
晦い絶望の淵に突き落したのだ。それは、  
軍規や軍律の屈かない深い所から、我々  
の肉體と精神を蝕む、餘りに深刻な人間  
的苦惱にぶつつかつたのだ。

若し我々があの時、我々の健康——こ  
れは決して肉體の言葉ではない——を挽  
回する嚴しい批判と、反省を感つてあた  
なら、或ひは我々は醜惡の虜となつてあ  
たら自分を毀滅してしまつてゐたかも知  
れない。併し我々は幸にして、最後におい  
てこの惡とのたゞかひに勝つことができ

北支派遣軍

永井とよき

五位窟の脚に黄河の水澄めり

五味敏一

今日もまた曠野はるけき麥野か

な

健坊子

ふるさとの野の香を囁むや蓬餅

渡邊中尉

鹽のふく道は遙けし蒙古原

若菜孟義

桃の花いたく散りたるいくさか

な

詩

桑の實

烈々たる夏の陽光に  
皮膚の穴といふ穴から

た。悶々として懊惱の淵に感溺してゐる  
とき、ちやうど潮霧の中から浮び上つて  
来る太陽のやうに、今まで體ぢゆうには  
びこつてゐた心の妖雲を照らして、新ら  
しい自分が徐々になんて生れ出たのを感じ  
た。それは徐々ではあるが次第にはつき  
りと、揺ぎなき力を持つ根深い自覺とな  
つて、我々のなかに盛り上つて来た。解  
脱とか悟入とかいふ、そんな洒落たも  
のではなかつたが、疲れとらめきの泥沼か  
ら咲き出た白蓮のやうに美しい、清淨な  
光を以つて我々の心を照らしてくれた。陰  
鬱に鬱めつけられてゐたもう一人の自分  
が、崇々清きもの前に目覺めてくれた  
のだ。我々は、この新しい自分を發見  
して、そしてそれを操縦することによつて、  
我々をとりまく環境の、如何なる醜惡と  
勝感に對しても、緩みなき自制と忍耐と  
を以つて、平靜なる自分を保全すること  
ができるやうになつた。

内観しつゝ生きて行くといふことが人  
間として如何に貴い生き方であるかとい  
ふこと、それから、至純なものに對する  
憧れが、如何に強く温い熱情を以つて、  
我々の寂寥を癒めてくれるかといふこと  
を、我々は、この苦しみのうちから體得  
したので。

◇ ◇  
戰場は、人間の試練場だともいふし、  
また野戦くづれは始末が悪いともいふ。  
兩方とも一つづゝの事實と意味を含んで  
ゐる。その孰れになるかは、苦しみと障  
害に對する、我々の生き方如何が決定す  
る。

人生を眞實に生きるものはどんな勲の  
道からでもいつまでも凋まぬ生命の花を  
探ひ摘む。  
(北支派遣軍守備隊 森 敬 二)

噴くやうに湧く汗に  
湯の中を歩くやうな行軍！  
顔はボイラーのやうに汗にまみ  
れ

眼に滲みて痛い

小休止十分！

桑の實があるぞ！

叫ぶ戦友の跡を追へば

濃紫の小さい粒が群れ貫り

甘く甘く蜜に光つてゐる

喰べた、喰べた、喰べた

糞が黒くなるぞ！

仲間が笑ひながら喰べ續ける

口も指も爪も

紫色に染めながら！

(南支派遣軍 眞島米親)



爆撃隊

目撃定めて急降下  
照準點は誤らず  
腹に抱へし爆弾の  
トグルを引けば一直線  
大音四方に轟きて  
我がW隊は天翔ける  
(○) 藤村 木村武雄

肉弾のつゞく限りは  
決死よく敵を屠らん  
つゞけよと叫ぶ隊長  
おくれじと競ふつはもの  
舟艇を蹴りて進むは  
むかへ撃つ敵のたゞ中  
手榴弾火花と散りて  
地雷火の轟く中に  
ひた進む砲の進軍  
逃げ逃ふ敵は算なし  
旭日は燦と輝く  
軍艦旗風にはためき  
砲の凱歌は高し  
(藤村 木村武雄)

山中岩治  
陣中閑あのだまりもの蔭があり  
佐々木良三  
減水期後が上る岡の上  
藤原 勇  
近頃は敵機來ぬと淋しがり  
敵弾が落ちて賑ふ露天風呂  
早馬武雄  
揚子江魚も通さぬ機雷原  
白波瀬作次郎  
音だけが聞えて見えぬ敵機來  
支那兵が戦ふたびにかはる地圖  
山中丑松  
遼江戰陽氣に見える外國船  
浮遊機雷見つけて西瓜思ひ出し  
山東久夫  
水雷艇揚子江では戦艦だ  
濱中正利  
層間文主は佳人か才媛か  
田村義男  
有難き戦争で知る新兵器

一、砲の星は淡みて  
寂莫の空明け初めぬ  
天に地に滿つる殺氣は  
死を賭けし男の子のきは  
ひ  
二、江岸の堤をへだて  
砲關に轟く敵は  
艦隊の夢や破れし  
撃ち出す弾丸も散れぬ  
三、いざ行かん命の極み  
生も死もかへりみはせし  
無難を手に重爆と打落し

我がW隊は天翔ける  
愈々迫る敵の空  
小艇に打ち出す機雷銃  
四十六號もいざ來れ  
四ツに組みつて闘はん  
我に練磨の度胸贈  
我がW隊は天翔ける

皇軍突如汕頭に進撃

海軍省海軍軍事普及部

上海、コロンブス、天津等に於ける租界問題が、全世界の  
視線を集めつつある真最中の六月二十一日午前十一時、恰  
も帝國の毅然たる決意を表明するかの如く、大本營陸海軍  
部から突如として南支の要港汕頭に敵前上陸の快舉が公  
表せられた。

即ち我が陸海軍の精銳部隊は、二十一日曉の霧を衝い  
て、極めて緊密なる協同の下に汕頭附近に敵前上陸を敢行  
し、破竹の勢ひを以つて進撃を開始したのである。願れば  
偶然にも昨年同月同日は、我が勇猛なる海軍陸戦隊が汕  
頭港外南澳島に上陸、之を占據した日である。

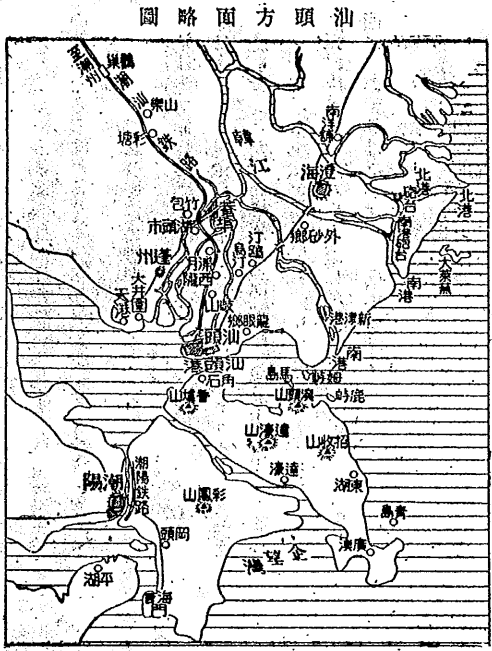
爾來滿一ヶ年汕頭の市民は日夜戦々兢兢として最後の日  
を豫期して居つたのであるが、終に其の日が來たのである。  
近藤海軍中將の率ゐる南支海軍部隊並びに之と協同す  
る陸軍部隊を搭載せる輸送船團は、本月某日某地を發進、  
艦隊の緊密なる嚮導掩護の下に、二十日夜半汕頭沖に進

入、揚陸部隊は直ちに上陸を開始し、海軍部隊は早くも午  
前五時半敵の抵抗を排除し、汕頭港を扼する諸島嶼を完全  
に占領した。

尙ほ海上部隊は午前八時三十分港内に進入を開始し、兩  
岸の敵を制壓しつゝ多數の機雷、水中障害物を排除し、  
一路邁進、午前十時五十分には早くも汕頭市街を距ること  
と東方二軒の地點に近迫、いよいよ猛進撃を續行、午前  
十一時二十分小艇にも我に反撃せる崎嶇砲臺並びに附近  
トーチカに據る敵を砲銃撃して之を潰走せしめ、午後二  
時頃迄には概ね港内の掃海を終り、輸送船團の汕頭港内  
進入を可能ならしめ、午後三時頃全水域の掃海を完了した。

この間海軍航空部隊は終始陸海軍部隊に協力、陸軍上  
陸部隊と協同して銃爆撃を以つて敵を制壓したばかり  
でなく、陸戦團正面の遠距離敵偵察攻撃に従事し、退  
却中の敵兵に多大の損害を與へ、且つ蓬州附近江上に於

して我が機を銃撃した敵汽艇を爆沈した。  
これより先、我が部隊が未だ港内に進入を開始しない前、  
我が○○海軍航空隊の水上偵察機一機は曉霧を利用して油



頭港内に着水し、敵銃砲火を冒して有効なる強行偵察の任務  
を果して無事歸還、水上偵察機の特長なる性能を遺憾なく  
發揮した。

尙ほ爾後に於ける戦闘は、我が神速果敢なる陸軍部隊に  
依つて、敗敵を急追又急追、戦果を急速に擴大中である。  
そも、油頭は周知の通り南支の要港であつて、蔣政権  
の特に重要視してゐた所であり、我が軍が廣東を攻  
略した際早く既にその免るべからざる今日の運命  
を覺悟してゐたのである。

而して廣東攻略後の油頭は抗戰支那唯一の海口と化  
した觀があり、最近援蔣第三國船舶の輻輳が特に目  
に立つやうになり、わけても英國怡和洋行の船舶出入  
が最も活潑であつた。  
こゝから種々の経路をとつて重慶に物資が送られ、  
又盛んに抗日支那の輸出が行はれてゐたのである。  
即ち油頭は蔣政権にとつてかけ替のない金庫でも  
あり、兵糧倉でもあつたのである。この要港を奪は  
れたことは、いかに瘦我慢を言つたところで、蔣政  
権の命とりとも云ふべき一大打撃であつたことは  
争ふべからざる事實である。

○御断り——今年前半期の週報目次は次號に掲載する豫定  
です。

## 油頭攻略の意義

### 陸軍省情報部

六月二十一日拂曉突如油頭作戦が開始せられた。我が海軍  
の緊密なる協同により先づ最初の敵前上陸は見事成功した。

#### 一、戦闘経過の概況

新津港方面(北岸)に敵前上陸せるわが陸軍主力の先頭部  
隊はドーナカ陣地に據る約一ヶ中隊の敵監視部隊を急襲し  
て之を撃退した。又達濠島方面(南岸)敵前上陸に成功せる我  
が一部隊は直ちに前進を開始し途中敵の小部隊を撃破して  
油頭對岸にある角石を占領した。新津港上陸點より目的地油  
頭までの距離は僅かに二里餘に過ぎないが酷暑の下悪路を  
克服し且つ敵の抵抗を撃破して前進するため時間を要し午  
後三時油頭に迫り外周の要點を占領して茲に全く油頭の死  
命を制した。一部隊は直ちに市内の掃蕩を開始した。市内  
を守備せる敵は約一ヶ團、堅固なる防禦物により而かも外  
國権益を巧みに利用してわれに抵抗しつゝあつたが市内處  
處に放火して退却した。

又韓江分流を遡江せる一部隊は午前九時港埠を占領、敵  
の北方退路を遮断した。本作戦に協力せる飛行隊は拂曉よ  
り飛行を開始地上部隊に終始緊密なる協同を行ひその戦闘  
遂行を容易ならしめた。

われと交戦せる敵は廣東軍獨立第九旅の一團及び保安隊  
約一千である。今次作戦に於ける戦果、敵に與へたる損害  
は遺棄死體目撃せるものみにも六百を下らず、俘虜九  
八、小銃百、迫撃砲一、彈藥六千發、我が損害、戦死二二  
名、戦傷四四名であつた。

#### 二、油頭攻略の意義

油頭攻略は海上封鎖を完全ならしめる作戦的意義を有す  
る外經濟的及び政治的に重大な意義を有する。  
山來油頭は天津・青島・上海・漢口・廣東と共に六大商港と  
稱され對外通商上重要な地位を占めて居たが、以上の五港



が次々に陥落し蔣政權の對外重要輸血路が斷絶されるに至つて唯一の殘された港として俄然その重要性が現はれた。廣東政略後三ヶ月間に於ける沿岸重要八海港の輸出入額を比べてみると次のやうである。

汕頭	二六、五〇八	福州	四、一三九
拱北	六、〇二一	北海	三、〇一三
雷州	五、九一九	廈門	二、〇三〇
溫州	五、二二三	寧波	一、二一八

即ち福建、江西、湖南、廣東四省の廣大な奥地を擁し、韓江及び韶州公路を利用して長江南方贛湘地方の物産は汕頭に集り其の對外貿易額は蔣政權下に在る全海港輸出入額の三八%を占めて第一位に位して居る。右は南昌陥落以前の數字であつて當時は尙浙贛鐵道が生きて居て贛湘地方の貨物が溫州、寧波の諸港に輸送されて居たのであるが南昌失陥により右のルートが遮斷された後には汕頭の價値が更に向上したことは明らかである。更に汕頭貿易の特異性は其の尙大な輸出超過で、前記三ヶ月間に於ける同港の輸出入額は輸出入總額の六四%に當つて居るが、之は蔣政權の抗戰繼續に必要な外貨獲得に重要な地位を占めて居るものと云ふべきである。

云ふべく、其の輸出の大宗が現代重工業に必須のタンクステンであり次で桐油である事に重大な意義がある。タンクステンは江西省南境地域に産しその輸出は汕頭に依るのが最も便で、その門戸を失ふことは世界に於けるタンクステンの市價を左右するものと云つて過言で無い。勿論必要の前には、佛印を迂回するルートが尙殘されて居るけれども、陸路長遠な距離に互つて鑛石を運搬することが如何に困難であるかは吹々を要しない所である。また此の附近は鹽の産地であり、江南、湖南省方面の民需の鹽は汕頭を経て奥地へ搬入せられるのであるが此の港を失ふ事は此の鹽を押さへられる事になる。鹽は周知の通り重工業の必需品であつて情報に依れば廣西省地方は鹽飢饉を來して困惑して居ると云ふことである。江西、湖南地方に鹽飢饉が來るのもさう遠いことではあるまい。

政治的意義に於ける唯一最大の問題は華僑である。當地方は廈門、泉州、廣東並海南島と共に南洋華僑の主要なる出身地であつて、當地方出身者だけで約二百四十萬に及び第一位に位し内二十數萬人は還郷に出稼し、商業、貿易業、製材業、並精米業に従事し一大勢力を形成し

て居る。華僑は各其の身分に應じて家族財産を墳墓の地に置き家族の生活費として信局、錢莊等の爲替取扱業者を通じて送金し、潮汕地方に於ては其の年額二億元以上に達することがある。華僑全體の送金は通常年二億乃至三億程度と見積られ、支那の國際貸借に寄與するところ頗る多く、廣東財閥は華僑によつて維持され、浙江財閥も亦華僑と不可分の因縁を有することは人のよく知るところである。今次事變に於ても華僑の援將資金は抗戰力維持に力があつたのであつてさてこそ蔣介石は有力なる宣傳員を海外に派遣し獨得の宣傳テロ工作とを併合して粒々辛苦の金を繰り上げたのである。従つて汕頭の占領は援將資金ルートの遮斷を意味し輸出貿易の閉塞と共に抗戰力の枯渇に拍車をかけるものと云ふべきである。更に皇軍の汕頭占領に依り彼等華僑が如實に皇軍の威容と其の秋毫も犯さざる正義の師を眼のあたり見て雲霧を排して日月を拜するの感あるべく、帝國の企圖する東亞新秩序の建設の旗下に欣然として馳せ參すべきや明であり、最近新聞情報の傳ふる浙江、廣東財閥の裏面の微妙な動きと共に極めて興味ある示唆を投げ與へるものである。

### 興亞建設はかく進捗しつつある

— 寫眞週報專載二周年特輯 —

事變勃發以來二周年、敵が自ら破壞し、或は戦火に荒された廣漠たる田畑も、鑛山も幾多の都市もいまや敵の凡ゆるテマを蹴飛ばし、その成功を不可能と稱した第三國人の豫想を裏切つて、復讐建設の巨歩を力強く進びつつある。週報が本誌に於いて扱つた「新東亞建設の歩み」を寫眞で紹介し現實の把握に便ならしめんとすべしのである。

#### 内容

- ☆かつての激戦地にみる建設畫譜
- ☆經濟開發は進む
  - 河北の田
  - 上海の勃興
  - 工場建設
  - 鑛山、炭山の開發
- ☆文化事業セクシヨン
  - ☆大地に立つ農民
  - ☆南に北に鐵路、バスは伸びる
  - ☆太原の日本色商賣往來
- ☆實物
  - 現地踏査見聞記
  - 興亞院
  - 事變二周年を迎へて
  - 陸軍省情報部
  - 海軍省海軍重曹及部

向は表紙は三色刷の美麗なもの  
御期待下さい  
來る七月五日發行

定價従來通り 十 錢

週報最近主要内容

**第百三十四號 (五月十日)**  
 △軍用資源確保法について △廈門攻  
 略戦の回顧 △海軍戦況 △米國の平和勸  
 告と反響 △平沼内閣總理大臣訓示  
 △文化協力の諸機關を語る(新東亞讀本⑥)

**第百三十五號 五月十七日**  
 △東電電氣通信政策と國際通商戰 △氣  
 象學と氣象事業 △列強の陸軍軍備⑤  
 △大陸戰況概観 △リトヴィノフ辭職の波  
 紋 △三民主義と新民主義(新東亞讀本⑦)

**第百三十六號 (五月二十四日)**  
 △太平洋の制海權と我が海軍 △最近現地  
 治安の狀況 △郵便年金制度とその改正  
 △トルコと海峽問題 △支那の民情と民族  
 性(七新東亞讀本⑧)

**第百三十七號 (五月三十一日)**  
 △青少年生徒に勸告を賜ふ △農村勞働力  
 の問題 △關門トネルの話 △日本海海  
 戦の戦果と日露戰争 △遼陽作戦の概要  
 △草の利用について △獨伊同盟成る  
 △支那の民情と民族性⑤(新東亞讀本⑨)

**第百三十八號 (六月七日)**  
 △物動計畫と生産力擴張計畫について  
 △外蒙軍の狀況 △支那事變國債の當惑

▼事變の戦果 ▼海軍の成果 ▼香港貿易  
 の變遷

**第百三十九號 (六月十四日)**  
 ▼物の國勢調査 ▼百億貯蓄と國民生  
 活 ▼ノモンハン事件 ▼最近の海軍作  
 戰經過 ▼バルチック諸國の情勢 ▼滿洲  
 帝國協和會とは何か(新東亞讀本⑩)

**第百四十號 (六月二十一日)**  
 ▼時局下に於ける勞働力持久策 ▼金の集  
 中運動と金の國勢調査 ▼商工省の機構改  
 正について ▼時局と讀書界の傾向 ▼公  
 衆衛生院とは ▼蔣政権の對外策

**寫眞** 六月二十八日  
 第七十一號  
 ☆天津英租界閉鎖一週間の  
 ☆興亞の偉業に輝く安全  
 ☆七月一日から七日まで各國安全週間一生産力  
 擴張に伴ふ災害の預防を如何にして防止しよ  
 うか。交通事故は如何にして防止しよ  
 ☆イペリヤに戦つたドイツ・コンド  
 ル部隊  
 ☆防共スペインの旗幟の下にランゴ將軍を  
 ヒスペイン各地方に名を馳せ大コソドール隊  
 軍は功なりとて二年ぶりに母國ドイツの土  
 を踏んだ。  
 ☆生きた化石・日本の特産ムカシ  
 ソダ  
 ☆星雲のカマ

内閣情報編輯 定價十錢

御注意	所込申	價定	週報
本誌より特約の場合には必ず「週報御注意」 の旨を明記し、且つ有様郵便を内 閣情報編輯部宛に郵封せよ 本誌記事の無断転載は即ち禁止す 印刷部等に對する御希望を願ひに關して の御意見を週報附録に告知し下さい 本誌へ廣告御希望の場合は必ず「週報」 本誌へ廣告御希望の場合は必ず「週報」	内閣印刷局發行課 電話九ノ内三五一九 振替東京一九〇〇番 全國各地官報販賣所 京都書籍株式會社 東京市神田區神保町一ノ三 振替東京九三九〇番 各書店・驛賣店	本誌に限り 十錢 (但し標題積者は普通定価) 半ヶ年(前金) 一圓二十錢 一ヶ年(前金) 二圓四十錢 (外國郵便に依る地域は一ヶ年四 圓八十錢) 半ヶ年分未納御希望の方は一部五錢の納 金を以て前金を差へ御申込み下さい	昭和十四年六月二十八日印刷發行 編輯者 内閣情報編輯部 東京市神田區永田町 内閣總理大臣官舎内 印刷者 内閣印刷局 東京市神田區大手町

躍進の滿洲へ

滿洲の實情認識は 銃後國民刻下の急務

- ◇滿洲に関する
1. 旅行、通關、貨物等の御質問に
  2. 事情、講演、活動寫眞の御需めは
- 東京 滿洲支店 内所  
 丸の内二階 電話九ノ内  
 八七七八  
 大塚 滿洲支店 内所  
 池袋 滿洲支店 内所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所  
 池袋 古所 出張所



滿鐵鐵道總局

◇寶庫滿洲の資源を網羅せる  
 滿洲資源陳列所(附設)  
 東京市神田區永田町一階  
 東京市神田區永田町一階



仕事が忙しい  
人達にノ

ノモタカ

# 人的資源の確保

傳染病の豫防に

## 三共内服ワクチン



三日の内服  
一ケ年有効

内服ワクチンは口から入る傳染病は口から攝る豫防剤によつて先づ第一に腸の粘膜を免疫されて病氣が起らぬやうにするといふ見地から研究され、佛人ベスレドカ氏の成功となりその後多くの追試者に本法の有効なことが認められ、現在では世界的流行といつても差支ないほど 内服ワクチンによる豫防法は普及するに至つた 内服ワクチンの服用による豫防法の利點は注射に見られるやうな疼痛並に不快な副作用を殆んど見ることなく如何なる場合に服用しても差支へなく常に安心して用ひられる

- 赤痢 内服ワクチン 一人用 ¥.20
- チフス 内服ワクチン 一人用 ¥.20
- 疫痢 内服ワクチン 一人用 ¥.16
- コレラ 内服ワクチン 一人用 ¥.24

東京・室町

(説明書進呈)

三共株式会社

露光量違いにより重複撮影

忙がしい  
人達に!

老若男女の間に  
流行病が蔓延する  
時、結核や助産院に  
やられる人が多い。

解熱剤、消毒薬、ワクチンと並んで、流行病にたいへん効果的である。



一粒で五廿個の分タイミンAを含む

**ミンタイミン** 研理

りあに店薬 りよ(登0三四一投小) 製二 球0四

店商置玉 社合式株

# 人的資源の確保

傳染病の豫防に

## 三共内服ワクチン



三日の内服  
一ケ年有効

内服ワクチンは口から入る傳染病は口から攝る豫防剤によつて先づ第一に腸の粘膜を免疫されて病気が起らぬやうにするといふ見地から研究され、佛人ベスレドカ氏の成功となりその後多くの追試者に本法の有効なことが認められ、現在では世界的流行といつても差支ないほど内服ワクチンによる豫防法は普及するに至つた内服ワクチンの服用による豫防法の利點は注射に見られるやうな疼痛並に不快な副作用を殆んど見ることなく如何なる場合に服用しても差支へなく常に安心して用ひられる

赤痢	内服ワクチン	一人用	¥.20
チフス	内服ワクチン	一人用	¥.20
疫痢	内服ワクチン	一人用	¥.16
コレラ	内服ワクチン	一人用	¥.24

東京・室町

(説明書進呈)

三共株式会社

露光量違いにより重複撮影

昭和十一年十月一日 日本印刷局印刷  
昭和十一年六月二十八日 日本印刷局印刷  
（毎週一回本誌日発行）

旗は日の丸 車はニッサン (當選標語)



**ニッサン**  
トラック・バス

……ニッサンは、経済的強力車として知られ、強力な點に就いては定評あるが、同時にガソリン消費量最も少なく、テストに際し、常に最小の消費（ガソリン）を以て最大の距離を走ることが、識者の夙に知るところである……………（日本工業新聞所載）

營業所

- 東京 東京市京橋區銀座
  - 大阪 大阪西區江戸橋上邊
  - 名古屋 名古屋市中區大池町
  - 京都 京都市京都府西門
  - 横浜 横浜市中區櫻木町
  - 神戸 神戸市灘區岩屋町
  - 福岡 福岡市東中洲町
  - 宇都宮 宇都宮市西大門口
  - 埼玉 埼玉縣與野町
  - 千葉 千葉市新町
  - 上海 上海黃浦路(7272)
- (全國各地に販賣店あり)

東京・日産自動車販賣株式会社・丸ノ内

(判[A5]格規定圖はる大の書本)

内閣印刷局印刷發行